

令和2年度 事業報告書

- ・ 法人本部
- ・ ふじの木園（支援施設）
- ・ ふじの木園（相談事業）
- ・ ときわ作業所
- ・ ときわホーム
- ・ 小規模授産施設
- ・ デイサービス施設あゆみ

令和2年度 社会福祉法人ときわ会 事業報告書

自 平成2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日

1. 法人の概況

事務局所在地	: 江南市河野町五十間88番地
電話番号	: (0587) 50-7555
代表者職氏名	: 理事長 春日井 昌市
許可年月日	: 昭和55年12月18日
認可番号	: 厚生省収児第1167号
設立登記年月日	: 昭和56年 1月 7日

2. 法人の行う事業

令和3年3月31日現在

社会 福祉 事業	第一種	施設種別： 障害者支援施設（生活介護・施設入所支援） 名称： ふじの木園（定員50名） 施設長名： 春日井 昌市
	第二種	事業種別： 障害福祉サービス事業（生活介護） 名称： ときわ作業所（定員55名） 施設長名： 滝 正直
		事業種別： 地域活動支援センター（Ⅱ型）【江南市指定管理】 名称： 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ（定員25名） 施設長名： 春日井 裕美
		事業種別： 地域活動支援センター（Ⅲ型）【江南市指定管理】 名称： 江南市中心身障害者小規模授産施設（定員概ね15名） 施設長名： 滝 正直
		事業種別： 障害福祉サービス事業（短期入所） 名称： ふじの木園（定員5名） 施設長名： 春日井 昌市
		事業種別： 障害福祉サービス事業（共同生活援助（介護サービス包摂型グループホーム）） 名称： ときわホーム「ニコット」（定員6名） 施設長名： 滝 正直
		事業種別： 障害福祉サービス事業（特定相談支援） 名称： ふじの木園 施設長名： 春日井 昌市
	公益 事業	事業種別： 貸館事業【江南市指定管理】 名称： 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ（定員25名） 施設長名： 春日井 裕美
事業種別： 日中一時支援事業 名称： ときわ作業所（定員5名） 施設長名： 滝 正直		
事業種別： 日中一時支援事業 名称： ふじの木園（定員5名） 施設長名： 春日井 昌市		

3. 職員数

令和3年3月31日現在

施設名	事業名	雇用別		施設長	副施設長	サビ管	看護師	栄養士	相談員	支援員	事務員	介助員	運転手	世話人	計	合計	
ふじの木園	施設生活介護 短期入所 日中一時支援	常勤	正規	1 (1)		1	2	1		18	1				24 (1)	33 (1)	
			契約												0 (0)		
		非常勤								9					9 (0)		
	特定相談支援	常勤	正規	1 (1)						2						3 (1)	3 (1)
			契約													0 (0)	
		非常勤													0 (0)		
ときわ作業所	生活介護 日中一時	常勤	正規	1 (1)	1 (1)	1 (1)				7 (7)					10 (10)	26 (15)	
			契約								5 (2)	1					6 (2)
		非常勤					1 (1)				9 (2)				10 (3)		
ときわホーム	共同生活援助	常勤	正規	1 (1)	1 (1)	1 (1)				7 (7)				※8	10 (10)	18 (12)	
			契約								2 (2)				※1		2 (2)
		非常勤									※3			6	6 (0)		
小規模	(Ⅲ)型 地域活動 センター	常勤	正規	1 (1)						2	1 (1)				4 (2)	6 (2)	
			契約								1				1 (0)		
		非常勤									1				1 (0)		
あゆみ	(Ⅱ)型 地域活動 センター	常勤	正規	※1						3	1 (1)				4 (1)	12 (4)	
			契約												0 (0)		
		非常勤					2 (1)				3			3 (2)	8 (3)		

法人事務局	雇用別		事務局長	事務局参事	事務局次長	事務主幹	事業主幹	事業員	事務員					計	合計	
	常勤	正規	(1)		(2)		(1)	(2)	(2)						0 (8)	0 (8)
		契約													0 (0)	
非常勤														0 (0)		

- ・職種の「サビ管」は「サービス管理責任者」の略
- ・職員数の（ ）は他事業所との兼務として再掲
- ・職員数の※は同一事業所内での兼務

4. 主務官庁指示に関する事項（運営）

ア 社会福祉法人等の指導監査（愛知県）

監査実施日	令和2年9月30日
監査方法	実地監査
監査対象事項	障害者支援施設 ふじの木園（運営・経理）
監査実施官庁	愛知県福祉局福祉部福祉総務課 監査指導室法人監査グループ

指示事項	履行状況
令和2年11月4日付 愛知県知事 2福総第271-121号 監査対象：ふじの木園 監査結果：指摘事項なし	

イ 指定障害福祉サービス事業者等実地指導（愛知県）

監査実施日	令和2年9月30日
監査方法	実地指導
監査対象事項	ふじの木園（生活介護・短期入所・施設入所支援） ときわ作業所（生活介護）
監査実施官庁	愛知県健康福祉部 健康福祉総務課 監査指導室 障害福祉事業者指導監査グループ

指示事項	履行状況
<p>[ふじの木園・ときわ作業所 共通] (運営規程)</p> <ul style="list-style-type: none"> 少なくとも年1回、従業員の体制を確認し、必要があれば修正等すること (重要事項説明書) 第三者評価及び事故発生時の対応等の項目を加えること 苦情受付市町村窓口を確認し、必要があれば修正すること (運営規程及び重要事項説明書) 利用者負担に係る内容について統一すること（キャンセル料含む） (生活介護事業) 指定生活介護事業所の設備は専ら当該事業所の用に供するものでなければならないので、他事業（日中一時支援）と同時にサービス提供を行っている状況を整理し、適切な対策を講じること 	<p>[ふじの木園・ときわ作業所 共通] (運営規程)</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年4月に従業員体制を確認し、変更があれば修正し届け出る内容に改善した。 (重要事項説明書) 第三者評価及び事故発生時の対応等の項目を追加した。 苦情受付市町村窓口を毎年市町村へ確認し、修正していくよう改善した。 (運営規程及び重要事項説明書) 利用者負担に係る記載内容を統一し、整合性のとれた内容に改善した。 (生活介護事業) 県への図面相談後、法人内での検討と指定権者である江南市と協議した結果、現在の設備や環境での改善は困難であると判断し、令和3年3月31日をもって、ふじの木園及びときわ作業所の日中一時支援事業の廃止する方向で調整を進めていくことを報告した。

5. 契約に関する事項

令和3年3月31日現在

契約年月日	相手方名称	目的	期間	賃貸料	その他
平成12年 4月 1日	江南市	更生施設用地	30年	無償	申出更新
平成13年 4月 1日	堀場 美喜夫	畑	1年	無償	自動更新
平成29年 4月 1日 (平成14年4月1日)	滝 敏美	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	伊藤 昇	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	森 博一	畑	1年	無償	自動更新

6. 寄付金に関する事項

令和3年3月31日現在

寄付の目的	寄付者 (敬称略)	件数 件	金額 円
法人本部	匿名	2件	20,000円
	ときわ会後援会	1件	1,000,000円
	小 計	3件	1,020,000円
ふじの木園	朝倉情子	1件	300,000円
	高木康秀	1件	500,000円
	匿名	1件	50,000円
	ふじの木園保護者会	2件	3,259,500円
	小 計	5件	4,109,500円
ときわ作業所	長谷川豊	9件	114,000円
	柴田鐵彦	1件	10,000円
	匿名	1件	5,000円
	小 計	11件	129,000円
合 計		19件	5,258,500円

8. 理事会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
令和2年 4月1日	議案第1号 理事長の選定	有
令和2年 5月20日	議案第2号 法人本部事務局事務局長の選任 議案第3号 令和2年度社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算 議案第4号 令和元年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告 議案第5号 令和元年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分収支決算 議案第6号 社会福祉充実計画の変更（案） 議案第7号 評議員会の招集事項 報 告 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書	有
令和2年 10月15日	報 告 理事長の職務の執行状況 （令和2年1月1日～令和2年3月31日） 給食提供業務委託業者の選定 コロナ禍中の法人の施設・事業所の運営報告	有
令和3年 3月17日	議案第8号 ときわ作業所施設長の選任 議案第9号 法人事務局長の選任 議案第10号 定款の一部変更 議案第11号 経理規程の一部改正 議案第12号 職員給与等支給規程の一部改正 議案第13号 契約職員雇用規程の一部改正 議案第14号 パート職員雇用規程の一部改正 議案第15号 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 議案第16号 指定障害者支援施設ふじの木園運営規程の一部改正 議案第17号 指定短期入所事業所ふじの木園運営規程の一部改正 議案第18号 ふじの木園（日中一時支援事業）運営規程の廃止 議案第19号 指定特定相談支援事業所ふじの木園運営規程の一部改正 議案第20号 指定生活介護事業所ときわ作業所運営規程の一部改正 議案第21号 ときわ作業所（日中一時支援事業）運営規程の廃止 議案第22号 指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ときわホーム運営規程の一部改正 議案第23号 令和2年度社会福祉事業区分第2次資金収支補	有

	正予算 議案第24号 令和3年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案） 議案第25号 令和3年度社会福祉事業区分資金収支予（案） 議案第26号 評議員会の招集事項 報 告 理事長の職務の執行状況 （令和2年4月～令和2年12月）	
--	--	--

9. 評議員会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
令和2年 6月10日	議案第1号 令和2年度社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算 議案第2号 令和元年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告 議案第3号 令和元年度社会福祉事業区分収支決算 議案第4号 社会福祉充実計画の変更	有
令和3年 3月24日	議案第5号 定款の一部変更 議案第6号 令和2年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第2次資金収支補正予算 議案第7号 令和3年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案） 議案第8号 令和3年度社会福祉事業区分資金収支予算（案） 報 告 ときわ作業所施設長の辞任及び選任の報告 法人事務局長の辞任及び選任の報告	有

10. 監事の監査状況

監査年月日	監査氏名	監査における指示・指摘事項	備考
令和2年 5月20日	青山 透 石川勇男	令和元年度において、事業全般に渡り適正に運営され、経理面においても適正に処理されていることを認める	

1.1. 法人運営会議の開催

委員長：三ツ口和男(理事)

委員：中西和子(評議員) 川田保(評議員)

滝正直(ときわ作業所施設長) 春日井昌市(ふじの木園施設長)

事務局：本間浩平(事務局次長) 春日井裕美(事務局次長)

林宏和(事業主幹)

開催年月日	主 な 内 容	備考
令和2年 5月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・5月理事会 ・6月定時評議員会、理事会 ・社会福祉充実計画の変更 ・給食提供業務委託業者の選定 	
令和2年 10月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・10月理事会 	
令和3年 2月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍中の法人の施設・事業所の運営報告 ・法人創立40周年記念事業(代替行事等)の報告 ・事業計画及び予算の骨子 ・定款の一部変更 ・規程等の一部改正 ・3月理事会、評議員選任・解任委員会及び臨時評議員会の予定議案 ・職員の確保定着・処遇改善 	
令和3年 3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・3月理事会、臨時評議員会の予定議案 ・職員全員会議 ・令和3年度職員体制 ・4月～6月会議等の予定議案及び日程調整 ・3月評議員選任・解任委員会(開催中止) 	

1.2. 事務局会議の開催

委員長：春日井昌市(理事長)

委員：滝正直(事務局長) 本間浩平(事務局次長) 春日井裕美(事務局次長)

林宏和(事業主幹)

開催年月日	主 な 内 容	備考
令和2年 4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・理事長変更に伴う手続き等 ・5月法人監査、法人運営会議、理事会 ・6月定時評議員会 ・5月後援会新旧合同役員会・5月後援会総会 ・指定管理施設の名称変更要望 	
令和2年 5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・5月法人監査、法人運営会議、理事会(開催方法) ・6月定時評議員会(開催方法) ・指定管理施設の名称変更要望の結果 	

令和2年 6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・定時評議員会（決議省略） ・理事会への職務執行報告書による報告 ・経営分析表 ・令和2年度職員採用 ・処遇改善加算・特定処遇改善加算 	
令和2年 7月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・7月後援会役員会 ・規程集の差し替え ・法人本部の令和2年度事業計画及び第2期中期計画 ・法人創立40周年記念事業 ・企業主導型保育事業の共同利用に関する協定の締結 	
令和2年 8月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・人事異動 ・県指導監査及び実地指導 ・法人本部の令和2年度事業計画及び第2期中期計画 ・生産活動の見直し（ときわ作業所） ・法人創立40周年記念事業 ・地域生活支援拠点の整備の骨子案 ・福祉車両助成申請 ・災害における助成団体への支援 	
令和2年 8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 	
令和2年 9月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動 	
令和2年 9月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・10月後援会役員会、法人運営会議、理事会 ・法人本部の令和2年度事業計画及び第2期中期計画 ・福祉車両助成申請 ・災害における助成団体への支援 	
令和2年 11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・職員面談・ヒアリングの実施 ・第2期中期計画の令和2年度の上半期の進捗状況 ・令和3年度予算及び事業計画の策定スケジュール ・規程等の改正予定 ・法人40周年記念事業 	
令和2年 12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・令和3年度予算及び事業計画の策定 ・社会福祉充実計画（充実残高の状況） ・ふじの木園・ときわ作業所日中一時支援事業の廃止 ・1月後援会役員会 ・法人40周年記念事業 	
令和3年 1月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・2月法人運営会議 ・令和3年度法人全体の職員体制 	

1 3. 法人連絡調整会議の開催

委員 長：委員長：林宏和（支援主幹） 副委員長：長縄健（支援主幹）

委 員：春日井裕美（指導主幹） 大川内誠（指導主幹）

及川玲香（相談主任） 丹羽章（グループリーダー支援員）

総 括：本間浩平（ときわ作業所副施設長）

開催年月日	主 な 内 容	備 考
令和2年 4月5日	・事業報告及び決算 ・あゆみ田楽会	
令和2年 5月11日	・5月理事会及び6月定時評議員会 ・後援会役員会 ・令和2年度各部会等の活動	
令和2年 7月17日	・法人創立40周年記念事業	
令和2年 9月11日	・法人創立40周年記念事業 ・夜勤者及び宿直者の健康診断 ・職員インフルエンザ予防接種 ・第2期中期計画令和2年度（上半期達成状況）	
令和3年 1月12日	・常勤職員の健康診断 ・事業計画及び予算骨子 ・交流会代替行事	
令和3年 2月15日	・理事会の議案等 ・事業計画及び予算 ・交流会代替行事の反省	
令和3年 3月5日	・理事会の議案等 ・事業計画及び予算 ・令和3年度の各部会、委員会	

1 4. 事務職会議の開催

委員 長：本間浩平（事務局次長）

委 員：三浦里夏（事務員） 藪下卓也（事務員）

開催年月日	主 な 内 容	備 考
令和2年 4月5日	・決算	
令和2年 5月11日	・5月理事会及び6月定時評議員会	
令和3年 1月12日	・予算骨子	
令和3年 2月15日	・予算	
令和3年 3月5日	・予算	

1 5. 社会福祉充実計画（平成29年度～令和3年度）

令和2年度に予定した取り組みとして、職員の処遇改善は、処遇改善手当の額の変更、特定処遇改善手当の支給開始、管理職手当の定額制への変更及び支給範囲の拡充等を実施した。

増配置した職員の定着については、直接処遇職員である支援員、看護師は標榜した人員に近い職員数となったが、課題として、正規・契約・パートの適正配置及び事務員、栄養士の欠員への対応について、人件費比率等を検証し、引き続き検討していくこととなった。また、4か年度目を終え、職員の処遇改善及び職員の増配置について一定の効果があったことに対して、社会福祉充実費（事業費）を予定より多い額で、早く執行したため、令和2年度で社会福祉充実計画については終了とした。

1 6. 中期計画の令和2年度の取り組み

（1）今後の事業等の方向性

新型コロナウイルス感染症の状況に対応し、既存の事業を継続するための支援体制等の検討を最優先に取り組んだ。平成30年に位置付けた、法人の諸課題である新規グループホームの整備をはじめとする主な検討事項についても、江南市とも今後の方向性について協議する等、継続して取り組んだ。

[主な検討事項]

・新たなグループホームの整備

江南市との協議を重ねた結果、法人の所有地に従来の「介護サービス包括型」の事業所の建設に向け検討を進めていくこととした。

・ふじの木園（定員の見直し、個室化）

定員は見直し後の40名体制に向け、受入れ体制を継続中。個室化については、令和元年度のニーズの再確認の結果、半数以上の方に個室化の希望があることを確認し、感染症クラスター対策やプライバシーの確保等を含めて個室化の検討を継続した。

・ときわ作業所（定員の見直し、大規模修繕）

定員の見直しは、増減後の運営体制等について調査を進めた。

大規模修繕には至っていないが、老朽化への対策として浄化槽の修繕や大型エアコン入れ替え、新型コロナウイルス予防の対策として水道の蛇口の自動化を実施した。

・地域生活支援拠点等の整備

江南市が事務局として行う地域生活支援拠点検討部会に参加し、機能の一つである「緊急時の受け入れ」について、ふじの木園での開始に向けて整備を進めた。

（2）職員の処遇改善と人員配置

職員の処遇改善については、新規職員向けの研修「フレッシュ職員ノート」及び全職員を対象にした「面談・ヒアリング」の継続に加え、企業主導型保育事業の共同利用に関する協定を締結した。また、働き方改革を視野に入れた世代間の給与配分の適正化や契約職員、パート職員へ手当の新設をする等、働きやすい職場づくりの醸成につなげた。

人員配置については、法人の社会福祉充実計画に基づき、各事業所の欠員等に備えた増配置に向けた取り組みを行った結果、新たに常勤支援員1名、非常勤支援員

2名、世話人を1名、常勤事務員1名を配置することができたものの、退職者もあり標榜する職員体制には至っていない。

(3) 法人本部・各施設・事業所の第2期中期計画の検証

法人本部・各施設・事業所の第2期中期計画(令和2年度)の達成度や実施状況等を検証した後、次年度の中期計画の内容の改善や見直しの必要性を整理し、令和3年度の事業計画の中に位置付けた。

(4) 法人創立40周年記念事業

法人創立40周年を記念して関係者や地域の方々へのお礼と、法人の更なる発展に向け、各行事に職員による実行委員会を設け、コロナ禍中の開催方法を検討した。記念誌の発行や代替行事の実施につなげた。

[実施内容]

- ①法人創立40周年記念式典中止に伴う取り組み
 - ・来賓予定者、功績者及び永年勤続者への表彰状、記念品の配付等。
- ②法人創立40周年記念誌の発行
 - ・関係者への配付。
- ③法人創立40周年記念ときわバザーの開催
 - ・代替行事として「ときわ会の秋まつり」を実施。
- ④法人創立40周年記念交流会の開催
 - ・代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を実施。

17. 新型コロナウイルス感染症対策

利用者の感染リスクの回避と健康を第一に考え、生活上の留意点、各活動の実施方法、保護者や外部業者の対応等をまとめた法人共通の「新型コロナウイルス発生時におけるBCP(事業継続計画)」を基本に感染症対策を実施した(令和3年3月31日現在 利用者・保護者・職員に感染発症者なし)。

令和2年度 ふじの木園（支援施設） 事業報告書

1 ふじの木園の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定障害者支援施設（施設入所支援・生活介護事業）
 施設名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 障害者支援施設
 (1) 施設入所支援 50名（現員45名）
 (2) 生活介護 50名（現員45名 施設入所と同者）
 (3) 短期入所 5名（随時）
 (4) 日中一時支援 5名（随時）
 対象者 障害支援区分4以上（50歳以上は区分3以上）である者
 職員等 [職員]・常勤24名・非常勤9名 計33名
 [他]・嘱託医（内科）1名
 ・講師（音楽療法・軽運動）3名 計4名

職員

（単位：人）

	施設長	サービス 管理責任者	事務員	支援員		
				支援 主幹	グループ リーダー	支援員
男	※1	1	0	1	1	6
女	0	0	1	0	1	9 (9)
合計	1	1	1	18 (9)		

	看護師	栄養士	合計
男	0	0	10
女	2	1	14 (9)
合計	2	1	24 (9)

()内は非常勤職員数、別掲

※は特定相談支援事業所施設長を兼務

2 事業総括

障害者支援施設

(1) 施設入所支援・(2) 生活介護

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、手洗い消毒や定期的な換気、三密の回避等の基本的な感染対策に加え、法人の感染症マニュアルに基づき、地域の発生状況や対策の変更等を把握し、利用者の感染リスクの回避と心身の健康を第一に支援を行った。また、入所施設という観点から、利用者の帰省や外出の自粛等についてのお願いや、保護者等との面会にも制限を設ける等の対応を行っている。また、ウイルスを園内に持ち込まないことを徹底してきたことにより、新型コロナウイルスの発症者は出ていない。

施設入所支援は、夜間及び休日において、入浴や排せつ、食事等の支援を行ってきた。

生活介護は、平日の日中において、施設入所支援同様の生活支援に加え、3つの活動班からなる生産活動、軽運動等の療育活動及びクラブ活動等の創作的活動に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた日課（朝・夕の検温や館内の消毒清掃）や活動グループと活動内容の見直しを行った。また、感染対策を講じた内容の行事への変更や代替え行事にも取り組む等、コロナ禍での新しい生活様式を模索した。

生産活動では、支援員の不足（産休・育休）があるなか新型コロナウイルスの影響により、外出等の自粛により帰省ができないため、週末の在園利用者が増加したことに伴い、生産活動の支援体制が整わない日もあり、昨年度より実施回数は減ったが、実施日や活動の体制等を見直すことにより安全に行うことができた。

利用者数は、男性1名の長期入院に加え、男女4名の利用者が入院をした。また、男性利用者1名が、介護が必要となったため高齢者施設への移行に伴い退所した。

利用者1名の退所や長期帰省、入院者が増えたこと等により年間を通しての利用延べ人数、1日当たり平均利用人数ともに減少した。

利用料収入は、昨年度より354,125円、率では0.2%の減収となった。

(3) 短期入所・(4) 日中一時支援

短期入所、日中一時支援ともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から受け入れの調整を行った中で、家庭の事情による急な受け入れ等に対応した。特定相談支援事業者等との連携により、円滑なサービスを提供することができた。

短期入所、日中一時支援の利用率は受け入れ調整の対応をとったこと等により減少した。合わせた額で昨年度より6,010,465円、率では95.7%の減収であった。

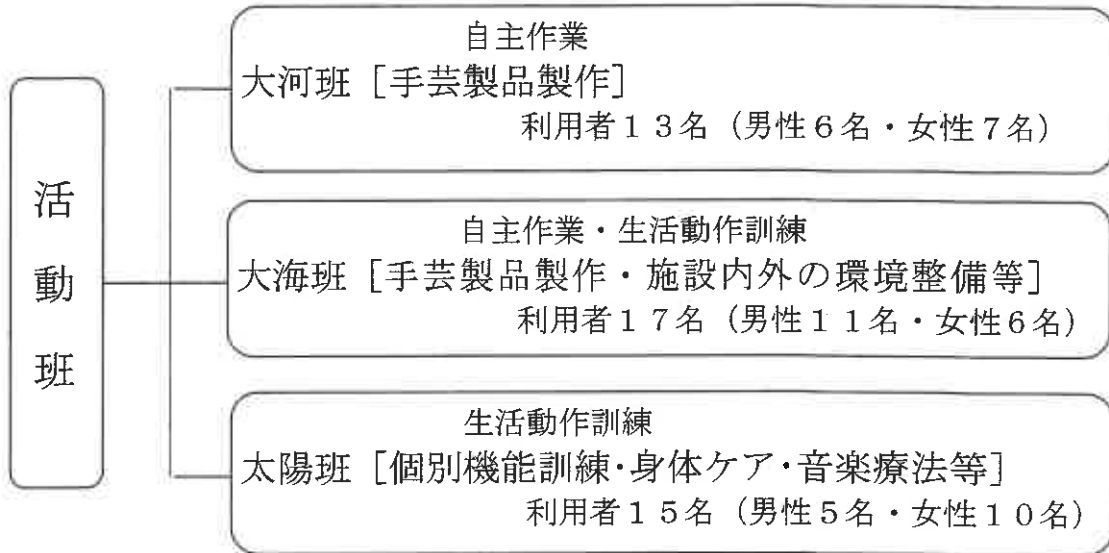
日中一時支援については、令和2年9月に実施した県指導監査にて、設置基準を満たしていない箇所があるとの指導を受け、その後、所轄庁である県や市との相談、法人内での協議を重ねたが、現状のふじの木園の設備や環境では、改善は困難と判断し、令和3年3月31日をもって事業廃止となった。

事業内容

1 生産活動

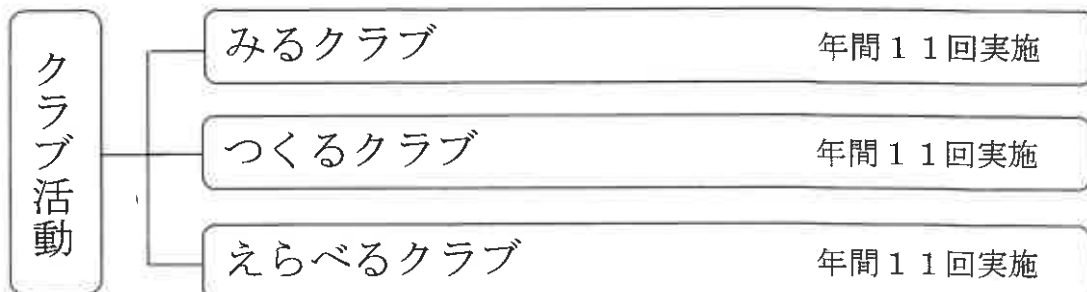
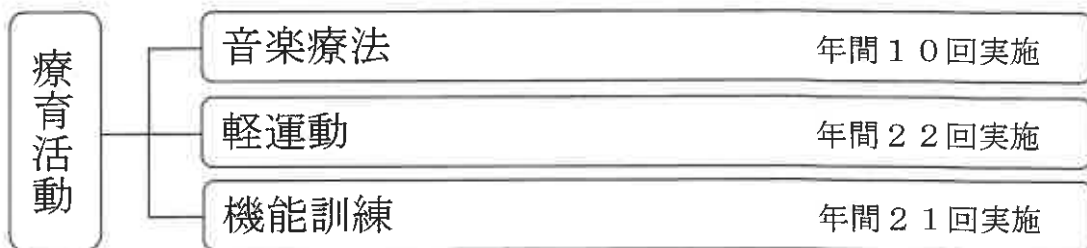
利用者の作業能力に応じた様々な生産活動を通して、身体機能や生活能力の向上を図った。

令和3年3月31日現在



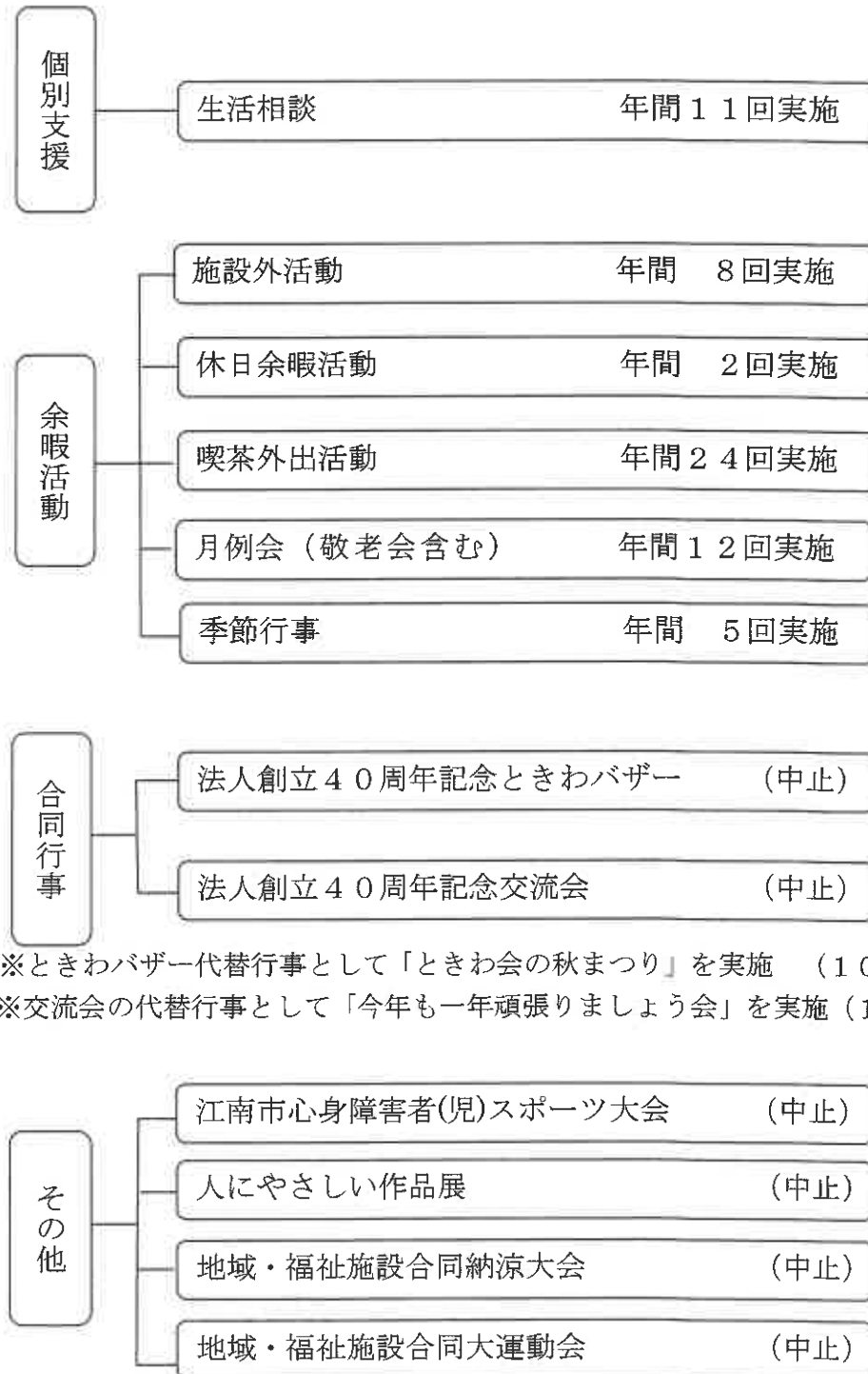
2 創作的活動

音楽やスポーツ、書道やDVD鑑賞等の創作的活動を通して、興味や趣味を持ち、施設生活の向上を図った。



3 その他の活動

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、施設生活の充実と地域への積極的な参加を図った。



※ときわバザー代替行事として「ときわ会の秋まつり」を実施（10月29日）

※交流会の代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を実施（1月14日）

※人にやさしい作品展の代替行事として、利用者から家庭へ年賀状を作成し送付した。

※地域・福祉施設合同納涼大会の代替行事として「ふじの木縁日」を実施（8月27日）

※地域・福祉施設合同大運動会の代替行事として「ふじの木園のお正月」を実施（1月2日）

4 医療支援

利用者のバイタル測定や怪我、疾病等の状態観察等、心身の変調等への対応に努めた。また、看護師2人体制となり、休日においても利用者の体調不良時等の際には、交代で処置等の対応を行った。

施設生活においても、マスクの着用や手洗い、消毒、換気、清掃など見直す等の感染症対策を徹底したことにより、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザやノロウイルス感染症の発生もなかった。症状に注意し、早期発見に努め、発熱者が出た場合は早急な通院や個別対応により感染予防対策に努めている。

健康診断や歯科健診の結果に基づき、医療機関での適切な治療につなげた。また、嘱託医による回診や相談を通じてフォローすることもできた。

三密を回避するために健康診断を午前と午後の2部制に変更したことで、時間に余裕ができ、移動時に混雑しないことや各検査の対応がスムーズになった。

手洗い講習については、新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から外部講師の派遣を中止し、施設の看護師と栄養士で講習会を行い、手洗いの大切さ等を伝えることができた。

【入院】

精神科 1 件

その他の診療科 4 件 (消化器内科・眼科・整形外科・口腔外科)

【通院】

症状が安定している慢性症状の治療を嘱託医へ移行することを進め、月に1回の内科回診を利用して皮膚症状(湿疹、乾皮症、白癬)、眼症状(結膜炎)の治療の他、処方可能な安定剤や睡眠剤等を処方していただくことで、嘱託医以外の外部通院の回数を減らすことができた。また症状に応じて呼吸器内科や整形外科、泌尿器科、精神科などの紹介をいただき専門医の受診につなげ、入院加療や嘱託医と地域医療機関と連携を図ることができた。

【回診・その他の取り組み】

- | | | |
|--------------------|-----------------|--------------------|
| ・内科回診 | 1 2 回実施 | 藤原誠治医師 (嘱託医藤原医院院長) |
| ・歯科健診 | 1 0 月 2 2 日 | 尾北歯科医師会 (県事業) |
| ・利用者・非常勤職員健康診断 | 7 月 2 2 日 | 名古屋公衆医学研究所 |
| ・支援員 (夜勤者) 健康診断 | 9 月 2 9 日 | 藤原医師 |
| ・利用者・職員インフルエンザ予防接種 | [2 回に分けて実施] | |
| | 1 1 月 1 7、2 4 日 | 藤原医師 |
| ・手洗い講習 | 1 1 月 2 日 | 施設看護師・施設栄養士 |
| ・利用者健康診断 | 2 月 2 5 日 | 藤原医師 |
| ・常勤職員健康診断 | 2 月 1 日～1 5 日 | 江南厚生病院健診センター |
| ・体重測定 | 年 1 2 回実施 | |
| ・血圧測定 | 年 1 2 回実施 | |

5 給食支援

新型コロナウイルス感染症予防対策として、食堂の配席を対面から一方向を向いて座る形に変更し、利用者で下膳していた食器は職員対応に変更した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため帰省自粛等の対応の中、施設内での利用者の楽しみが一つでも増えるよう、特別企画“ふじの木園で過ごそう～みんなの食べたいおやつ～”と称して、多数のお菓子やデザートの写真の中から、利用者みなさんが普段ご家庭で食べているお菓子、今食べたいデザートを選び、人気の高かったポテトスナックやアイスクリーム等の数種類をおやつに提供した。また、帰省自粛が続く中で、少しでも利用者のストレスの軽減につながるよう、年末年始に食べたいおやつの希望を聞き、チョコレートや鬼まんじゅうを提供した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から4月・5月・6月・7月・12月の給食連絡会議の開催は中止したが、連絡調整等を随時行うことで業務に支障をきたすことなく食事提供ができた。

[主な取り組み]

- | | |
|---------------|--|
| ・行事食 | その都度（7月うなぎ丼、2月恵方巻き等） |
| ・セレクトメニュー | 毎月1回（トマトとチーズのグリルチキン 又は 鮭のきのこクリームソースの選択等） |
| ・誕生者リクエストメニュー | 誕生日（誕生者が希望した一品） |
| ・季節のおすすめ献立 | 月1回（ラタトゥイユ・さんまフライ等） |

6 地域移行への支援

施設生活から地域生活への移行の長期的な取り組みとして、「～へ外出に行きたい」等の日頃の利用者からの希望を勘案し、例年は外出活動等により地域資源を活用して地域社会との関りを持ってきたが、今年度はコロナ禍で外出の機会が減少した中でも、近隣の飲食店やショッピングモール等のテイクアウト等を活用することで、地域社会との関りの場を持つことができた。

7 ときわホームへのバックアップ

主に夜間や休日における医療や災害等でときわホームの利用者に緊急の対応が必要となった際の協力施設としての役割に備えた。

令和2年度 緊急対応 0件

8 防犯対策

神奈川県相模原市で起きた障害者施設での殺傷事件（平成28年7月26日）以降、防犯対策を強化するため以下の取り組みを行った。

[主な内容]

- ・防犯訓練の実施 江南警察署生活安全課職員による講話と不審者侵入時の対応訓練の実演 11月30日

一人ひとりが防犯への意識として、来訪者への職員からの声掛け、不審者と判断した際その他職員への応援、施設内各所の施錠により、不審者と施設内利用

者の距離を保てること、モップやほうき等、身近な物を打撃武器として代用すること等の意識を持つことの重要性を確認することができた。

9 中期計画の令和2年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 利用者定員の見直し

新型コロナウイルスの感染拡大防止の措置として、帰省や外出の自粛等の対応を取ったことによる休日の在園利用者増に対応するため、休日の支援体制を増員し支援を行った。

今年度から実施を予定していた重度者・高齢者と軽度者・若年層とをすみ分けた日課の構築（特別活動）については、平日の職員数の不足等の理由から実施には至らなかったが、新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた日課や活動班、活動内容を見直した。また、感染対策を講じた行事や代替え行事にも取り組んだ。

9月に男性利用者1名が高齢者施設へ移行され、現員は45名となった。

(2) 利用者サービスの向上

ア 個人を尊重した個別支援

ふりかけセレクトについては、月に1回継続して実施し、定着した取り組みとなり、利用者も選択する楽しみを感じることができている。

発作の多い利用者への食事の提供方法や、利用者の身体の状態を新型コロナウイルスの感染防止対策として食堂での食事席を減らし、各階での食事摂取者を増やした。また、食事の提供時間や食堂への入室順などについても見直したことで、より安全で円滑な食事提供（支援）ができるようになった。

イ 災害時の対応

ライフライン停止時にでも水や火を使わなくても対応できる食品の中から、より長期保存ができ、重度者や高齢利用者にも食べ易い食材をリスト化し、非常時でも安全に提供できる献立の作成を行い、随時入れ替えを始めた。

(3) 設備ハード面の充実

ア 事業所の整備

利用者の心身状況の変化等に合わせて居室の変更等を行い、より安全で安心した施設生活を送ることができるよう努めた。

開設後約18年が経過した中で、施設設備等の劣化や老朽化に伴う故障や不具合等が見られるようになり、防火戸や居室電子錠の交換等の大規模な修繕を実施した。

生産活動報告

新型コロナウイルスの基本的な感染対策を講じて活動を実施した。また、新型コロナウイルスによる影響や通院対応による日課の変更等により、例年よりも班活動が減少した。

1 大河班

[手芸製品製作] 自主作業

大海班と連携し、クッション等の施設製品の制作に取り組んだ。その中で、適宜散歩等も取り入れ、気分転換を図った。班活動が実施できない日は特別班を実施した。

新型コロナウイルスの影響でバザーへの参加はなかったが、ときわ会40周年記念式典(1月)の記念品として11月にエコバック・エコバックポーチを作成した。

2 大海班

[手芸製品製作] 自主作業

少ない活動数の中でも大河班と連携し、製品の作製に取り組んだ。令和2年度は新型コロナウイルスの影響でバザーへの参加はなかった。

[生活動作訓練] 個別機能訓練・施設周辺の清掃活動・洗濯

生活動作訓練については天気の良い日には中庭へ出て、ボールを使用した運動や施設周辺の散歩に取り組んだ。また、理学療法士から個別に受けた指導内容の実践にも積極的に取り組むことができた。地域清掃活動の実施については新型コロナウイルスの影響もあり9月のみの実施となった。

3 太陽班

[生活動作訓練] 個別機能訓練、身体ケア、音楽療法

重度化・高齢化が進む中で男女利用者別で活動する形が定着した。個々の状態や能力に応じた機能訓練やペグボードや型はめ等の指先の生活動作訓練に取り組んだ。また、絵本の読み聞かせや音の出る絵本の活用、散歩やマッサージ等を行うことにより気分転換にもつながり、精神安定と身体機能維持を図ることができた。

創作的活動報告

1 療育活動

①音楽療法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、4月から8月までの間は、外部講師の派遣を中止し職員が講師となり実施した。カラオケや音楽に合わせて体を動かすこと等の活動を実施してきたが、9月より、感染症対策の強化による日課の見直し等に合わせて、音楽療法の活動を中止した。

年間10回実施

[行事での発表曲]

令和2年度の発表はなし。

②軽運動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、外部講師の派遣を中止し職員が講師となり実施した。年間計画を基に、ボッチャ等の取り組みに加えて、利用者の精神面や健康面等を考慮し、中庭で玉入れや散歩等を行い、気分転換を図る活動も取り入れた。

年間22回実施

[主な活動]

- ・レクリエーション（ボッチャ、輪投げ、ピンポン入れ、的あて、玉入れ）
- ・ボッチャふじの木カップ（8チームによる交流戦）
- ・中庭で玉入れ、散歩

[大会結果]

- ・愛知県障害者スポーツ大会…感染拡大防止のため大会不参加。
- ・第21回愛知県ボッチャ大会…感染拡大防止のため大会不参加。

[主な活動]

- ・知的障がい者理解促進スポーツ教室…感染拡大防止のため実施なし。

③機能訓練

理学療法士が作成したプログラムに沿って、嚥下・発語訓練や棒体操等の運動に取り組んだ。個別ADLでは、それぞれの課題点を確認し、日常生活の中でも実践した結果、関節可動域が改善し、筋力の向上や歩行の安定等につながった。

年間21回実施

[主なグループ運動]

- ・摂食・嚥下機能訓練（首や口の動き・発声練習）
- ・準備運動（上下肢・肩関節・股関節の運動等）
- ・筋力トレーニング（棒を使った運動）

[主な個別ADL指導]

- ・体重減少目的とした体幹の回旋、段差昇降
- ・体幹安定性向上を目的とした足踏み及び歩行運動
- ・関節可動域の維持向上を目的とした運動

2 クラブ活動

①みるクラブ

三密を回避するため、活動場所を作業室や地域・交流スペース、2階や4階の各階の娛樂室等、状況により場所を変えて映画鑑賞を行った。映画の内容は利用者のリクエストを聞きながら、見やすさ・楽しさを考慮した作品を選んで鑑賞した。

鑑賞後は観賞した映画のキャラクター等の塗り絵を行い、1階廊下に掲示することで、園内の人だけでなく来園者にも見てもらい、映画鑑賞の雰囲気伝えることができた。

年間11回実施

○鑑賞作品

トイストーリー4、ボスベイビー、アンパンマン、名探偵コナン等

②つくるクラブ

季節の行事やイメージする風景を、折り紙やちぎり絵等を用いて表現し掲示することで、見てもらう喜びや春夏秋冬を楽しむことができた。また、制作時の大変さや完成時の感想を発表する機会も楽しみとなっていた。

年間11回実施

○作製した作品

掲示物（鯉のぼり等）、吊るし雛、カレンダー等

③えらべるクラブ

利用者が選択した活動内容を月替わりで取り組む形式のクラブ活動“えらべるクラブ”を行った。活動内容は以下の通り。

実施月	活動内容	実施月	活動内容
4	公園散策	10	公園散策
5	公園散策	11	中止
6	スポーツ大会	12	ウッドバーニング
7	ウッドバーニング	1	フラワーアレンジメント
8	キーホルダー作り	2	フラワーアレンジメント
9	公園散策	3	公園散策

公園散策(4月、5月、9月、10月、3月)、スポーツ大会(6月)、ウッドバーニング(7月、12月)、キーホルダー作り(8月)、フラワーアレンジメント(1月、2月)に行った。

スポーツ大会は、中庭での玉入れや施設内でボーリングや輪投げ等を行い、体を動かす機会となった。

ウッドバーニング、キーホルダー作り、フラワーアレンジメントの個人作品については、居室に飾ったり、カバンに取り付けたりした。

公園散策は、気候の良い時期に施設周辺の散歩等を行った。戸外を散歩し、気分転

換を図り、木々や草花を見ながら季節を感じていただく機会となった。
年間11回開催。

その他の活動報告

1 個別支援

生活相談

月1回、希望者を対象に施設生活の中で困っていることや聞いて欲しいことを言葉や表情で理解することができ、職員の共通認識として支援に生かすことができた。また、希望者がなかった月は、近々の健康面や精神面等を考慮した中で対象者を選定し個別での機能訓練や散歩等を行いリフレッシュの時間としての活用することができた。

年間11回実施（利用10名）

- [主な相談内容]
- ・帰省等の中止による不安等の解消
 - ・施設での生活について
 - ・他利用者との関係について

2 余暇活動

①施設外活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設外での活動を自粛した。

外出の代わりにテイクアウトを利用し、各利用者の希望する飲食物を園内にて楽しく飲食することで、気分転換を図ることができた。主に作業室で飲食を行い、換気にも気を配りながら行うことで、3密の回避にも意識して取り組むことができた。

年間8回実施

[テイクアウトを行った主な店舗]

さぼてん、ほっともっと、藤一番等

②休日余暇活動

新型コロナウイルスの影響で、施設外の催し物等への参加や外出については自粛したが、クリスマス会等の行事の飾り物の作成や飾り付けを行うことで季節感を味わい、行事に向けての楽しみを増やすことができた。

年間2回実施

[施設内での取り組み]

クリスマスツリーの飾り付け、ひな祭りの飾り付け

③喫茶外出活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設外での活動を自粛した。

少人数グループでの外出の代わりにテイクアウトを利用し、各利用者の希望する飲食物を園内にて楽しく飲食することで、気分転換を図ることができた。

年間24回実施

[テイクアウトを行った主な店舗]

アピタ江南西店、マクドナルド江南ピアゴ店等

④月例会・敬老会

新型コロナウイルス感染対策に伴い各階フロアで行った。月例会では、当月の行事予定と誕生者の発表と、看護師から病気等の予防に関する話題、栄養士から旬の食材等の紹介等の話を聞くことで、日常生活において季節を意識することができた。

誕生者のお祝いには、月例会での発表と別日のクラブ活動後でお菓子の詰め合わせ等のプレゼントとケーキを食べて祝福した。9月の敬老会では、今年度60歳を迎えられた利用者1名のお祝いをした。

年間12回実施（内9月は敬老会）

⑤季節行事

・これからもよろしくね会（中止）

新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。

・七夕祭り(令和2年7月6日)

新型コロナウイルスの感染対策として、三密回避のため各階に分かれて行った。

笹の短冊以外の飾りつけは前日に飾りつけの時間を設け、利用者も準備を行ったことで前日から楽しみを持つことができた。当日に飾り付けが終わった短冊は玄関に飾りつけを行い、保護者来園時に見てもらえるようにした。

・クリスマス会(令和2年12月23日)

前日から利用者が参加してクリスマスツリーの飾りつけを行い、クリスマス会前から楽しい雰囲気を作ることができた。

クリスマス会当日は、新型コロナウイルスの影響により、各フロアで行った。飛沫を防ぐために利用者でクリスマスソングを歌うことは避け、音楽はBGMとして流した。各々希望のプレゼントに加え、保護者や音楽療法の講師からもクリスマスプレゼントが届き、楽しいクリスマス会となった。

・書初め大会(令和3年1月6日)

新型コロナウイルス感染対策に伴い各フロアで行った。令和3年の干支“うし”やお正月にちなんだ文字を思い思いに書き留めた。

発表についても新型コロナウイルス対策に伴い各階フロアで行った。

- ・ 節分祭り (令和3年2月2日)

新型コロナウイルス感染対策に伴い各階フロアで行った。豆に見立てた新聞紙を丸めた物を鬼に向かって投げて豆まきを行った。楽しみながら季節を感じることができた。

- ・ ひな祭り (令和3年3月3日)

新型コロナウイルス感染対策に伴い各フロアで行った。お内裏様とお雛様の絵が描かれたボードから自分の顔を出して記念撮影や、ひな祭りにちなんだイラストの色塗り等を行い楽しみながら季節を感じることができた。

3 合同行事

- ①法人創立40周年ときわバザー(令和2年11月1日)

新型コロナウイルス感染症予防のため中止となったが、代替行事としての「ときわ会の秋まつり」を事業所毎にスタンプラリーをして楽しんだ。

- ②法人創立40周年記念交流会(令和3年1月14日)

新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を行い各事業所で成人者のお祝いと食事会をして楽しんだ。

4 その他

- ①心身障害者（児）スポーツ大会(令和2年9月19日)

新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。

- ②人にやさしい作品展(令和2年11月24日～12月7日)

江南市役所西分庁舎で予定をされていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。代替行事として、利用者から各家庭へオリジナルの年賀状を作成し新年の挨拶をした。

- ③地域・福祉施設合同納涼大会(令和2年7月18日)

新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。代替行事として、施設内で“ふじの木縁日”を実施し、ボールすくい、的当て等のゲームで縁日の気分を感じ、楽しむことができた。

④地域・福祉施設合同大運動会(令和2年10月17日)

新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。代替行事として、施設内で“ふじの木園のお正月”を実施した。施設の作業室に手作りの鳥居と神社を設置し、絵馬へ抱負を書いたり、おみくじを引いたりして初詣気分を味わうことができた。また、昼食には保護者会からの寄付でいただいた、モスチキンとエビフライの選択制の食事やおやつに洋菓子店のプリンアラモードを食べ特別感のある食事となった。

令和2年度 ふじの木園行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
4.10	これからもよろしくね会 (中止)		4.18 ~5.6	藤まつり (中止)
5.23	県障害者スポーツ大会 (中止) (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	5.24	こどもフェスティバル (中止)
7.5	七夕祭り			
7.18	地域・福祉施設合同納涼大会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会		
7.22	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所		
9.19	心身障害者 (児) スポーツ大会 (中止)	障害者 (児) 連絡協議会		
10.17	地域・福祉施設合同大運動会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会	10.1	古知野高校文化祭 (参加中止)
10.22	歯科健診	尾北歯科医師会	10.11	江南ふれあいまつり (中止)
10.29	ときわ会の秋まつり (ときわバザー代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同	11.7 ~8	こうなん産業フェスタ (中止)
11.1	法人創立40周年記念ときわバザー (中止)			
11.17	インフルエンザ予防接種①	藤原医師		
11.24	インフルエンザ予防接種②	藤原医師		
11.24 ~12.7	人にやさしい作品展 (中止)	障害者 (児) 連絡協議会		
12.12	愛知県ボッチャ競技大会 (大会不参加)	県社協障害者スポーツ 振興センター		
12.23	クリスマス会			
1.2	ふじの木園のお正月			
1.4	新年会			
1.6	書初め大会			
1.14	法人創立40周年記念交流会 (中止) 今年も一年頑張りましょう会 (交流会代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園合同		
2.2	節分祭り			
2.25	健康診断	藤原医師		
3.3	ひな祭り			
3.23	ボッチャふじの木杯			

その他	施設実習等
月例会(敬老会含む)	
年間 1 2 回実施	
クラブ活動	
年間 1 1 回実施	
保護者会	
年間 0 回実施	
避難訓練	
年間 1 2 回実施	
体重測定	
年間 1 2 回実施	
血圧測定	
年間 1 2 回実施	
施設外活動	
年間 8 回実施	
休日余暇活動	
年間 2 回実施	
喫茶外出活動	
年間 2 4 回実施	
音楽療法	
年間 1 0 回実施	
軽運動	
年間 2 2 回実施	
機能訓練	
年間 2 1 回実施	
生活相談	
年間 1 2 回実施	

障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）の状況

1 契約状況（市町村別）

令和3年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入所前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	13人	20人	33人	0人	25人	6人	2人
一宮市	3	0	3	0	1	2	0
岩倉市	1	0	1	1	0	0	0
小牧市	0	1	1	0	0	1	0
犬山市	1	0	1	0	0	1	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	0	0	1	0
清須市	1	0	1	0	1	0	0
大口町	1	0	1	0	1	0	0
扶桑町	2	0	2	0	2	0	0
合計	22	23	45	2	30	11	2

2 障害支援区分別

令和3年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	1人	0人	7人	1人	13人	22人
女	0	1	1	7	4	10	23
合計	0	2	1	14	5	23	45

3 年齢別

令和3年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	2人	10人	7人	3人	22人	50.4歳
女	0	0	0	6	5	7	5	23	49.8
合計	0	0	0	8	15	14	8	45	50.1

4 月別利用状況

(1) 生活介護（月～金曜日及び施設長が定めた日の9:00～17:00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	968人	1,041人	921人	947人	966人	921人
稼働日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日
1日当たり 平均利用人数	44.0人	45.3人	41.9人	41.2人	42.0人	41.9人
契約人数	46人	46人	46人	46人	46人	46人
利用率	95.7%	98.4%	91.0%	89.5%	91.3%	91.0%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	946人	905人	944人	964人	836人	963人	11,322人	944人
稼働日数	23日	22日	23日	23日	20日	23日	269日	22.4日
1日当たり 平均利用人数	41.1人	41.1人	41.0人	41.9人	41.8人	41.9人		42.1人
契約人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人	546人	45.5人
利用率	91.4%	91.4%	91.2%	93.1%	92.9%	93.0%		92.5%

利用率 定員50人に対し、1日平均利用人数42.1人 利用率92.5% 年間延べ11,322人が利用
年間稼働日数 269日

(2) 施設入所支援（夜間及び休日等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,230人	1,249人	1,227人	1,271人	1,299人	1,255人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり 平均利用人数	41.0人	40.3人	40.9人	41.0人	41.9人	41.8人
契約人数	46人	46人	46人	46人	46人	46人
利用率	89.1%	87.6%	88.9%	89.1%	91.1%	90.9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,271人	1,230人	1,271人	1,296人	1,169人	1,297人	15,065人	1,255人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	30.4日
1日当たり 平均利用人数	41.0人	41.0人	41.0人	41.8人	41.8人	41.8人		41.3人
契約人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人	546人	45.5人
利用率	91.1%	91.1%	91.1%	92.9%	92.8%	93.0%		90.7%

利用率 定員50人に対し、1日平均利用人数41.3人 利用率90.7% 年間延べ15,065人が利用
年間稼働日数 365日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 施設本体

	生活介護	施設入所支援	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
令和2年度	129,497,812円	60,755,519円	5,103,737円	22,025,353円	217,382,421円
令和元年度	130,655,047円	62,065,229円	5,239,176円	19,777,094円	217,736,546円
差 引	-1,157,235円	-1,309,710円	-135,439円	2,248,259円	-354,125円
前年比	99.1%	97.9%	97.4%	111.4%	99.8%

(2) 短期入所・日中一時支援

	短期入所	日中一時支援	合計
令和2年度	269,269円	0円	269,269円
令和元年度	5,040,905円	1,238,829円	6,279,734円
差 引	-4,771,636円	-1,238,829円	-6,010,465円
前年比	5.3%	0.0%	4.3%

施設本体は昨年度より354,125円、率では0.2%の減収であった。

短期入所、日中一時支援の利用率は減少し、合わせた額で昨年度より6,010,465円、率では95.7%の減収であった。

6 日常生活動作能力別

令和3年3月31日現在

区 分	性 別	性 別		合計
		男	女	
		22 人	23 人	45 人
食 事	全 介 助	2	4	6
	一 部 介 助	9	10	19
	自立 (見守り・声かけ)	11	9	20
排 泄	全 介 助	4	6	10
	一 部 介 助	7	9	16
	自立 (見守り・声かけ)	11	8	19
着 脱	全 介 助	4	7	11
	一 部 介 助	3	4	7
	自立 (見守り・声かけ)	15	12	27
洗 面	全 介 助	9	11	20
	一 部 介 助	7	7	14
	自立 (見守り・声かけ)	6	5	11
入 浴	全 介 助	6	11	17
	一 部 介 助	9	12	21
	自立 (見守り・声かけ)	7	0	7
歯磨き	全 介 助	8	11	19
	一 部 介 助	5	12	17
	自立 (見守り・声かけ)	9	0	9
生 理	全 介 助	0	8	8
	一 部 介 助	0	3	3
	自立 (見守り・声かけ)	0	0	0
	終了	0	12	12

7 入院状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

性別	精神神経科	その他の科	合計	備考
男	1人	3人	4人	[その他の診療科の主な入院内容] 精神面不安定 白内障・下顎骨折・腸閉塞 右上腕骨折
女	0	1	1	
合計	1	4	5	

8 通院状況別

令和2年4月1日～令和3年3月31日

	内科	外科	整形外科	精神神経科	皮膚科	歯科	眼科	耳鼻科	脳外科	泌尿器	婦人科	合計
男	217人	18人	33人	29人	15人	51人	14人	21人	3人	5人		406人
女	314	3	50	64	18	49	22	3	1	0	8人	532
合計	531	21	83	93	33	100	36	24	4	5	8	938

(把握分)

9 服薬状況

令和3年3月31日現在

性別	要服薬者	非服薬者	合計
男	20人	2人	22人
女	20	3	23
合計	40	5	45

定期薬服薬者(座薬や頓服薬者除く)

10 服薬状況内訳

令和3年3月31日現在

性別	中枢神経系 用薬使用者	その他内服 薬使用者	合計
男	16人	4人	20人
女	14	6	20
合計	30	10	40

定期薬の種類別分類

11 栄養摂取状況別

令和2年度平均

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(ug)	(mg)	(mg)	(mg)
平均	1,818	73.7	43.2	662	10.1	702	0.95	1.04	96
ふじの木 園基準量	1,800	66.0	40	660	11	700	1.20	1.10	100

※ 低カロリー食含

知的障害者(児)短期入所事業の状況 (契約者数83名の内、3名の利用 延べ利用日数31日)

1 契約状況(市町村別)

令和3年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	41 人	16 人	57 人
一宮市	4	0	4
犬山市	0	1	1
小牧市	2	0	2
岩倉市	1	2	3
名古屋市	0	1	1
大口町	8	2	10
扶桑町	1	4	5
合計	57	26	83

2 障害支援区分

令和3年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	7 人	0 人	7 人
区分2	0	3	3
区分3	7	3	10
区分4	21	8	29
区分5	13	11	24
区分6	9	1	10
合計	57	26	83

3 年齢別

令和3年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	0 人	8 人	18 人	21 人	7 人	3 人	57 人	39.4 歳
女	0	7	8	4	6	1	26	38.2
合計	0	15	26	25	13	4	83	38.8

日中一時支援事業の状況(契約者数79名の内、0名の利用・延べ利用日数0日)

1 契約状況(市町村別)

令和3年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	40 人	18 人	58 人
一宮市	5	1	6
岩倉市	0	1	1
犬山市	0	1	1
小牧市	1	0	0
扶桑町	1	3	4
大口町	7	1	8
合計	54	25	79

2 障害支援区分

令和3年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分非該当	0 人	1 人	1 人
区分1	7 人	0 人	7 人
区分2	0	2	2
区分3	6	1	7
区分4	19	8	27
区分5	14	12	26
区分6	8	1	9
合計	54	25	79

3 年齢別

令和3年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	0 人	9 人	17 人	20 人	5 人	3 人	54 人	39.6 歳
女	0	8	8	5	4	0	25	37.6
合計	0	17	25	19	9	3	79	38.6

令和2年度 ふじの木園（相談事業） 事業報告書

1 ふじの木園の運営

設置・経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定特定相談支援事業所 [特定相談支援事業]
 事業所名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 特定相談支援事業
 (1) 計画相談支援 随時
 (2) 基本相談支援 随時
 対象者 計画相談支援 障害福祉サービスを利用する者
 基本相談支援 障害者及びその家族等
 職員数 [職員]・常勤3名 計3名

(単位：人)

	施設長	相談支援専門員		合計
		相談主任	相談支援専門員	
男	※ 1		1	2
女		1		1
合計	1	2		3

※は障害者支援施設ふじの木園施設長を兼務

2 事業総括

(1) 計画相談支援

新型コロナウイルス感染拡大予防の為、面談等の実施を市と調整し、聴き取り方や署名等の受け取り方に配慮を行った。また、事業所での面談時には、入館時の手指消毒、検温、マスクの着用、アクリル板の設置、終了時の消毒清掃を実施した。

モニタリングでは、利用者、保護者の意向の把握を行い、適切なサービス利用に繋がるような計画の作成に努めた。

施設入所利用者については、現状の支援目標の達成度に留意し、新たな目標の設定を行い、より良い生活に繋がる計画の作成に務めた。

在宅利用者については、本人の障害の状態や家族の介護負担の状況等把握を行い、居宅介護の導入やサービス提供事業所とサービス内容の情報共有を行い、支給量等の調整を行った。

利用者の高齢化に伴う、介護保険への移行については、本人の希望、本人の状態と現状のサービス提供（支援、環境面）の把握を行い、個々に応じて慎重な対応を行った。

今年度は、新規の契約があったが、介護保険移行のための契約終了もあり、契約者数は107名のままとなった。報酬は513,085円、率では13.1%の増収であった。

(2) 基本相談支援

障害福祉サービスの利用に関すること、家族の抱える本人への不安の解消等、個々のケースに合わせて障害者やその家族からの相談に応じ、必要な情報提供に努めた。

3 中期計画の令和2年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 支援事業の安定的運営

加算取得に繋がるように江南市に基幹相談支援センターへの相談や江南市の相談支援部会において他相談支援事業所の加算取得の状況等の把握を行い、現状で取得できる加算の見直しを行った。また今後の加算取得につながる調査を行い、行動障害支援体制加算の取得を目指した。

イ 地域生活支援拠点事業への対応

江南市相談支援部会への参加により地域の動向等の情報収集、地域生活支援拠点事業における特定相談支援事業所の役割や基幹相談支援センター等との連携の方法等の調査を行った。

(2) 利用者サービスの向上

・ 相談支援専門員のスキル向上、業務の効率化

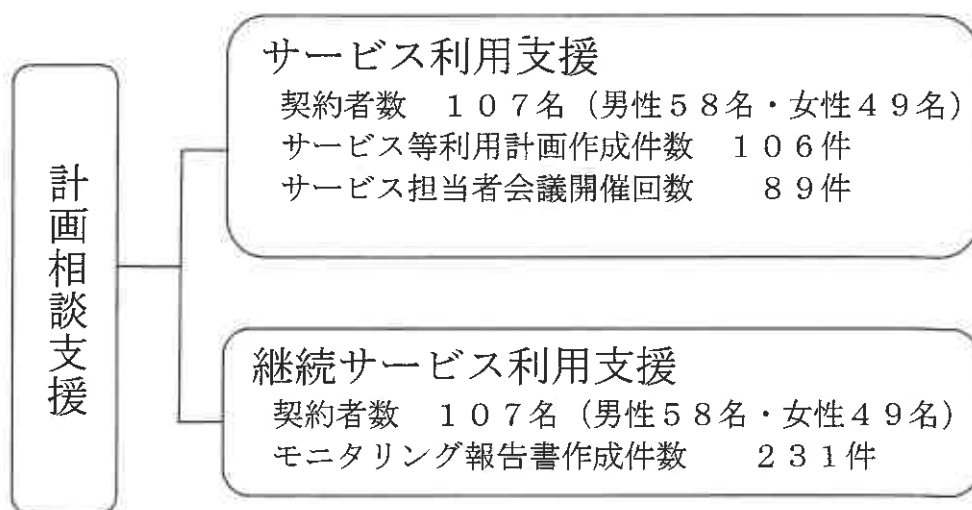
相談支援専門員のうち、1名が強度行動障害者養成研修（基礎研修）を受講し、障害についての理解を深め、より良い計画作成に努めた。

2ヶ月に一度の頻度で開催された江南市相談支援連絡会に参加し、市内の相談支援事業所の相談支援専門員との意見交換や情報共有をすることができた。

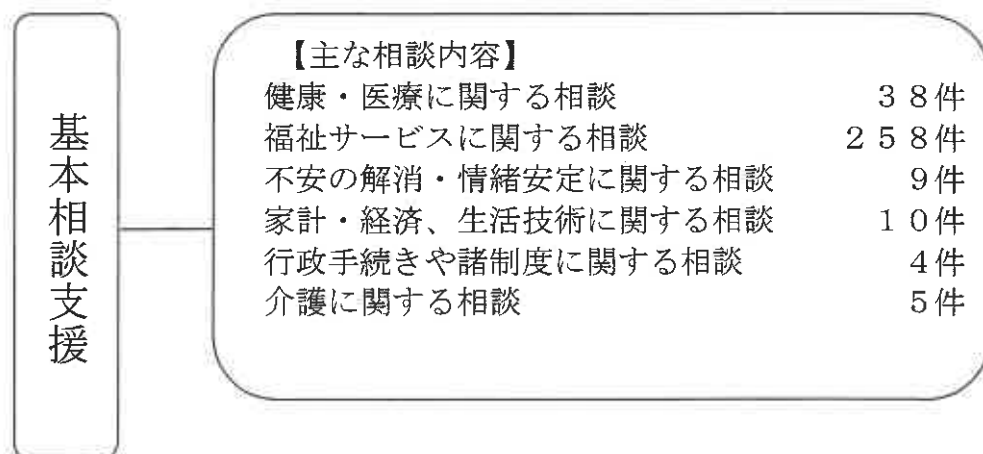
- ・ また、新規のグループホーム等の事業所を見学し、情報収集を行い、利用者への情報提供に繋げた。

事業内容

1 計画相談支援



2 基本相談支援



計画相談支援

1 サービス利用支援

障害福祉サービスの支給量更新時に合わせてサービス等利用計画案の作成を主に行った。支給更新時は、遅滞のないサービス等利用計画の作成に努め、利用者とその家族への聴き取りを行い、情報の収集やニーズを把握し、適切なサービス利用につなげることができた。また、サービス等利用計画の作成後はサービス担当者会議を開催し関係者間での情報共有や支援方法等について協議をすることができた。

新規利用契約を関係機関で役割分担を行い、サービス利用に繋げることができた。サービス利用開始後も連携して、生活状況の改善に務めた。

2 継続サービス利用支援

定められた期間ごとにモニタリングを実施し、サービスの進捗状況や生活状況、ニーズの変化等を把握し適切なサービス利用へと繋げることができた。また、モニタリングの期間外でも生活環境の変化やニーズの変化等が見られた際にはその都度モニタリングを実施し、サービス事業所との調整やサービス内容の変更等により利用者と家族の安心安全な生活に務めた。

基本相談支援

障害者やその家族からの福祉や日常生活等の相談に対して、必要に応じて障害福祉サービス事業所や行政・医療機関等の専門機関の情報提供等を行った。

【主な相談内容】

障害福祉サービス利用に関する相談等が 79.6%を占め、最も多く、次いで健康・医療に関する相談が 11.7%であった。

会議研修等出席状況

(会議関連)			(研修関連)		
管理会議	年間	12回	施設内研修	年間	2回
職員会議	年間	12回	外部研修	年間	1回
サービス担当者会議	年間	89件			
(部会関連)					
江南市相談支援部会	年間	5回			

特定相談支援事業の状況

1 契約状況（市町村別・障害等別）

令和3年3月31日現在

市町村名	性別		合計	障害等			
	男	女		知的	身体	精神	難病
江南市	49人	44人	93人	91人	9人	4人	0人
一宮市	3	2	5	6	3	0	0
岩倉市	1	0	1	1	1	0	0
小牧市	0	1	1	1	0	0	0
犬山市	1	0	1	1	0	0	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
清須市	1	0	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
大口町	1	0	1	1	0	0	0
扶桑町	2	0	2	2	0	0	0
合計	58	49	107	106	13	4	0

2 障害支援区分別

令和2年3月31日現在

区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	1人	3人	23人	10人	21人	58人
女	1	0	1	9	13	14	11	49
合計	1	0	2	12	36	24	32	107

3 年齢別

令和2年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	2人	17人	25人	10人	3人	1人	58人	43.9歳
女	0	0	6	13	10	13	3	4	49	44.7
合計	0	0	8	30	35	23	6	5	107	44.3

4 月別支援状況

(1) 開所日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	21日	18日	22日	21日	17日	20日

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
開所日数	22日	19日	20日	19日	18日	23日	240日	20.0日

(2) サービス等利用計画書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
サービス等利用計画 作成件数	6件	10件	10件	7件	9件	10件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
サービス等利用計画 作成件数	7件	7件	6件	13件	13件	8件	106件	8.8件

(3) モニタリング報告書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
モニタリング報告書 作成件数	19件	15件	21件	22件	21件	18件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
モニタリング報告書 作成件数	22件	18件	17件	20件	23件	15件	231件	19.3件

5 利用料収入の前年度比較

	金額
令和2年度	4,443,081 (円)
令和元年度	3,929,996 (円)
差引	513,085 (円)
前年比	113.1 (%)

サービス等利用計画の変更件数の増により昨年度より513,085円、率では13.1%の増収であった。

6 障害福祉サービス利用状況

障害福祉サービス		性別		合計
		男	女	
通所・在宅系サービス	生活介護	29人	21人	50人
	短期入所	33	17	50
	短期入所(療養型)	0	0	0
	居宅介護	1	3	4
	地域活動支援センター	6	3	9
	移動支援	5	3	8
	日中一時	32	18	50
居住系サービス	共同生活援助	1	8	9
	生活介護	22	23	45
	施設入所支援	22	23	45
合計		151	119	270

※重複利用があるため、契約者数とは一致しません。

2 事業総括

(1) 生活介護

新型コロナウイルス感染予防として、法人内の他施設及び関係機関とも連携し、地域の発生状況や対策の変更等の把握に努め、法人共通の「新型コロナウイルス発生時におけるBCP（事業継続計画）」に基づき、利用者の感染リスクの回避と健康を第一に支援を行った。愛知県独自の緊急事態宣言の期間中に通所自粛期間はあったが、機能を完全に止めることなく事業を継続することができた。

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

生産活動は、作業内容の検証や個々の適正に合わせて作業工程を見直したことで、やりがいや責任感を養うことができた。

余暇活動の社会見学は、新型コロナウイルス感染予防のため中止となったが、経済活動では、自分で選んだ食事をテイクアウトし、普段と違った雰囲気の中でDVD鑑賞やマジック体験をしながら交流を深めることができた。

健康支援は、利用者の体調把握に注視しつつ、看護師による健康チェック等を行うなど、快適に過ごせるよう努めた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立や季節のおすすめ献立を取り入れ、楽しみの持てる食事の提供ができた。衛生面についても、感染症予防の徹底や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

ときわホームのバックアップは、職員間で連携を図ることで、利用者の体調面及び精神面の把握をし、必要に応じた病院受診等の対応をすることができた。

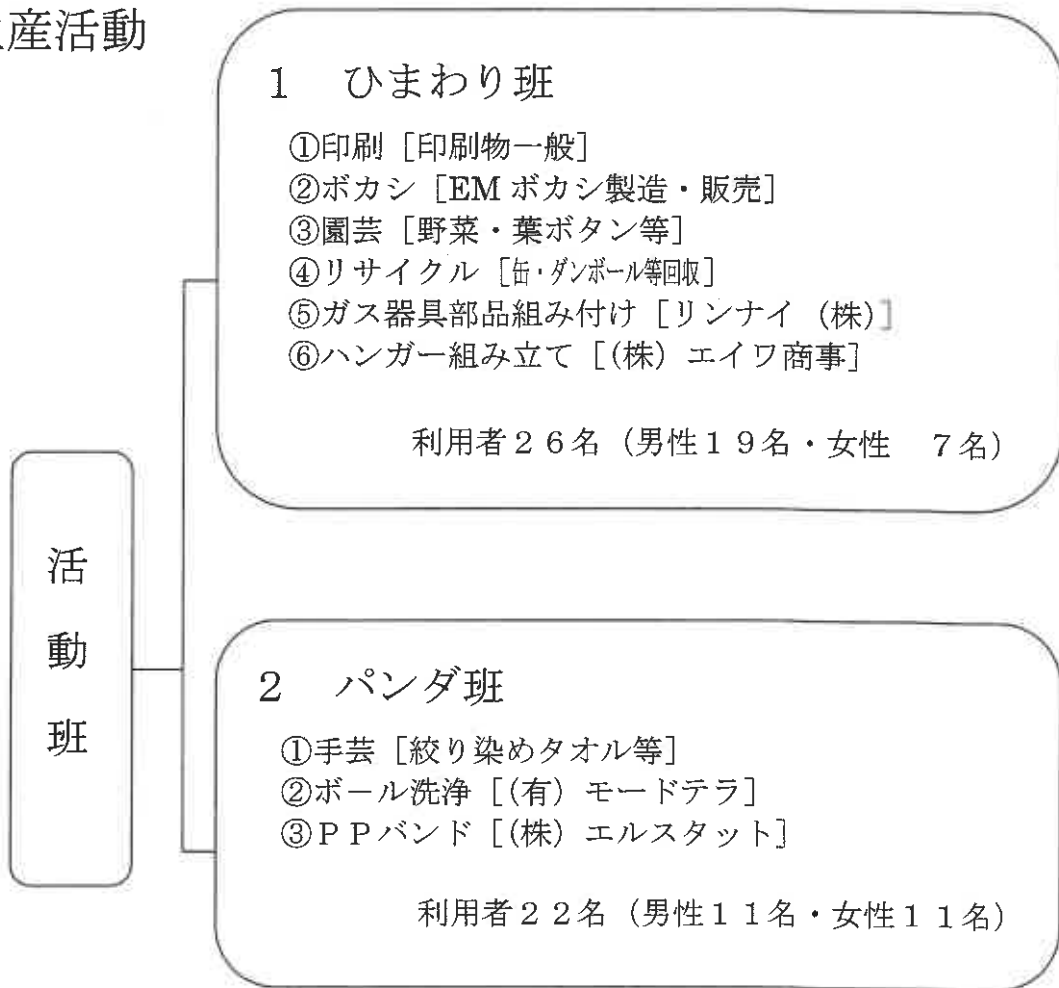
事業所の稼働日数は254日、平均利用人数は42.1人で利用率は86.8%であった。事業所開所日の1日増加や生活介護事業の加算に対応した送迎サービスの開始、利用率が上がったことにより、事業所の利用料収入は、額で昨年度より、2,253,518円、率では2.5%の増収であった。

(2) 日中一時支援

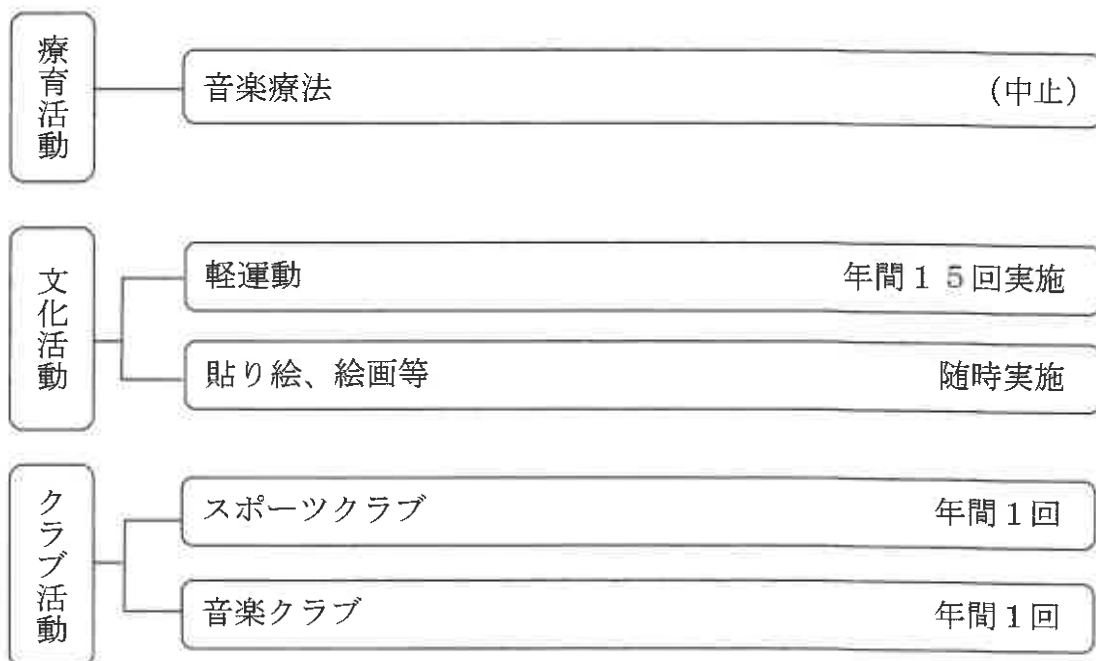
新型コロナウイルス感染予防の観点から、日中一時支援事業としての利用者の受け入れは中止した。また、9月30日に実施された、愛知県の実地指導での「指定生活介護事業所の設備は専ら当該事業所の用に供するものでなければならぬので、他事業（日中一時支援）と同時にサービス提供を行っている状況を整理し、適切な対策を講じること」という指示事項について、江南市とも協議した結果、令和3年3月31日付で日中一時支援事業を廃止することとなった。令和3年度以降、体験利用や実習で特別支援学校の生徒を引き続き、受け入れができるよう体制を整えた。

事業内容

1 生産活動

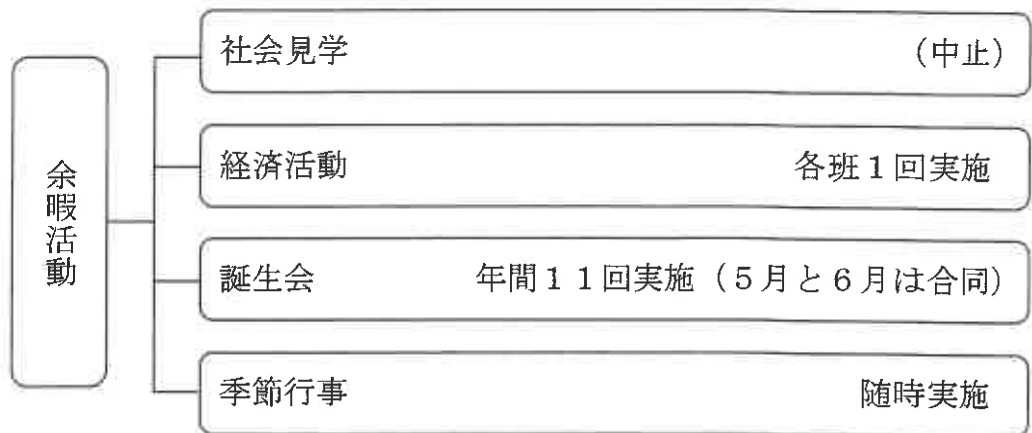


2 創作的活動 (ときわ・小規模共通)

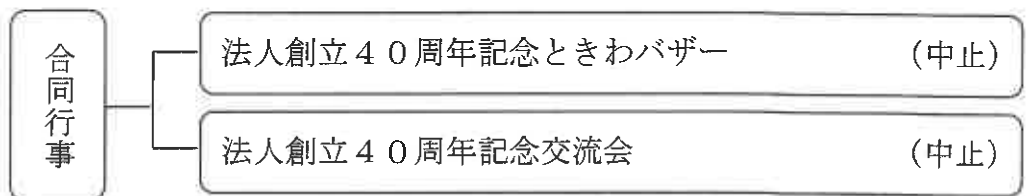


※新型コロナウイルス感染予防のため、各フロアでクラブを11回実施

3 その他の活動 (ときわ・小規模共通)

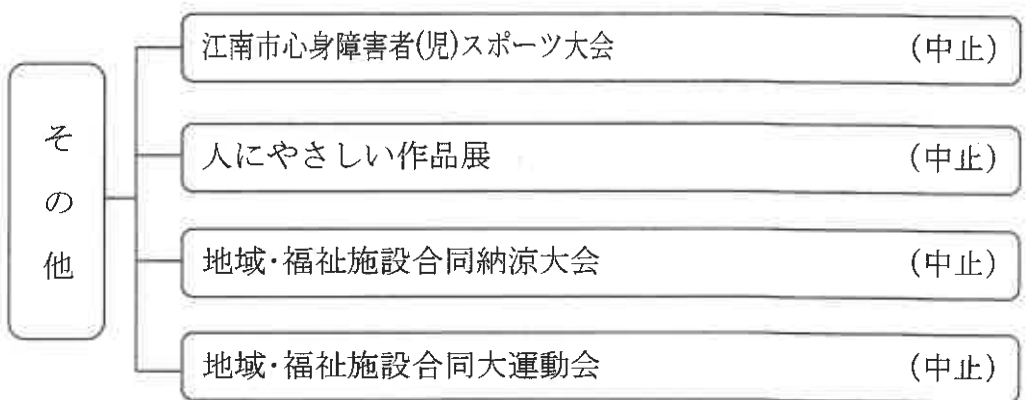


※新型コロナウイルス感染予防のため、フロア毎に実施



※ときわバザーの代替行事として「ときわ会の秋まつり」を実施(10月29日)

※交流会の代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を実施(1月14日)



※人にやさしい作品展の代替行事として事業所内「作品展」を実施
(12月1日～12月25日)

4 健康支援

健康調査表や健康診断の結果の確認、日常の健康観察を行うことで、適切に健康面の把握をすることができた。また、歯科衛生士による「健康教育」、「歯磨き指導」を書面で通知し、保護者とも連携し実施をした。継続して実施してきたことで、歯磨きの習慣が付いてきており、歯と歯肉、口腔内の健康の保持増進につなげることができた。

5 給食支援

委託業者と連携を図り、身体状況に応じた刻み食の提供や残食量の把握、選択できる献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた給食提供ができた。

衛生面については、感染症予防の徹底や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

6 ときわホームのバックアップ

ときわホームの利用者の状況については、朝礼や終礼を通して情報の共有を図り、利用者の体調面及び精神面の把握に努めたことで、日中の利用者支援の向上にもつなげることができた。

7 中期計画の令和2年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 利用者定員の見直し

利用率等を検証した結果、令和3年度も利用定員の変更はせず、利用者が毎日楽しく通所できる事業所を目指した利用者サービスを提供していくことが必要であると確認できた。

イ 事業所の大規模修繕

安心安全に事業所利用ができるよう、大型エアコンの入れ替えを実施した。また、障害の重度化や高齢化に合わせた事業所設備の適切な維持管理及び新型コロナウイルス対策として水道の蛇口の自動化への取り換え修繕等を実施した。

(2) 利用者サービスの向上

ア 班活動、日課の見直し

生産活動では、利用者の障害の重度化、高齢化に対応するため、試行的な作業を取り入れながら、作業内容の見直しに向け検討した。創作的活動では、新型コロナウイルス感染予防の観点から、一部の活動は中止となったが、班単位での活動に切り替え、利用者の要望に寄り添った活動を実施した。

日課の朝の会、帰りの会が定着し、利用者への日課や行事の事前周知の徹底がされ、通所意欲の向上につなげることができた。

イ 工賃の見直し

生産活動の収支バランスの改善が図れたため、減額支給をすることなく、令和元年度と同様の工賃の支給ができた。また、利用者の障害の重度化高齢化に合わせて作業工程の見直しを進めることができたため、作業工程の検証とともに、引き続き客観性のある個別支援計画と連動させた工賃基準の確立に向けて検討をすすめる必要があると確認できた。

ウ 送迎サービスの見直し

利用者の事業所への通所を確保すると共に、家族の高齢化等に伴う送迎の負担軽減を図ることを目的とし、生活介護事業の送迎加算に対応した送迎を実施した。また、保護者の病気や急なけがに伴う、緊急利用の送迎サービスを5名の利用者を対象に実施した。

生産活動報告

1 ひまわり班

①印刷 [印刷物一般]

名刺印刷は、江南市の指定台紙を中心にお客様のニーズにできる限り対応したことで、納品の際には利用者に対して感謝の言葉を掛けていただけた。印刷した名刺に市章プレスを押す作業や納品業務に利用者が携わり、製品が仕上がっていく過程を理解し、仕事に対する責任感を養うとともに完成した喜びを感じることができたが、障害の重度化高齢化に伴い、利用者の携わることができる工程が限定された。

②ボカシ [EMボカシ製造・販売]

多くの利用者が製品になるまでの工程に携われるよう、工程毎に分担し取り組むことで責任感を養うことができた。販売店への納品業務は毎週2回行い、売上数や商品の状態を把握することで、品質を一定に保つことができた。また、納品先の職員や地域の方々からも挨拶や励ましの言葉掛けをいただき、利用者の意欲向上につながった。

③園芸 [野菜・葉ボタン等]

野菜販売や葉牡丹の鉢植えの販売が大変好評であり、いも掘りについても、皆で協力して育ててきたという充実感溢れる笑顔が多くみられ協調性、責任感を養うことができた。畑の水やりから利用者も携わることで、野菜の育ち具合も確認することができ、収穫の楽しみにつなげることができたが、障害の重度化、高齢化もあり活動時間の配慮がこれまで以上に必要となった。

④リサイクル [アルミ缶・ダンボール回収等]

ダンボール等の回収業務は、事業所内で整理整頓し、こまめに納品をすることで急な回収依頼にも対応することができたが、回収業務に携わる利用者は、障害の重度化、高齢化もあり減少した。アルミ缶分別の作業やダンボールの積み下ろし作業については、利用者が協力し合い作業を進めることができた。

⑤ガス器具部品組み付け [リンナイ株]

資材の組み付けや納品以外にも、納品箱の清掃や納入カードの準備、トラックの積み下ろし作業等、利用者が幅広い工程に携わることで自信にもつながった。また、かんばん（資材）管理表を基に業者との資材の確認を綿密にしたことにより、納期に遅れずに対応することができた。

⑥ハンガー組み立て [株エイワ商事]

工程毎に分かりやすく利用者に説明しながら役割分担をしたことで、一人ひとりが作業の大切さを自覚して資材の不良を見分けられるようになり、質の高い製品作りができた。利用者の特性に合わせた組み立て、パネ付け、型はめ、シール貼り等、数多く工程を設けることで多くの利用者が携われる作業となり、作業意欲の向上につながった。

2 パンダ班

①手芸 [絞り染めタオル等]

絞り染めについては、作業工程を増やして製品づくりをしたことで、仕上がりの模様を楽しみにし、やりがいを持って多くの利用者が携わることができた。新型コロナウイルス感染予防の観点からロビー販売や各種バザー販売への参加はなかったが、保護者や近隣の方から販売時にねぎらいの声を掛けてもらうこともあり、製品作りの喜び、充実感を得ることができた。

②ボール洗淨 [有モードテラ]

障害の程度に関わらず、障害特性に合わせて作業工程を工夫したことで、多くの利用者が携わることができる作業として定着した。また、作業工程を丁寧に説明し、必要な備品を整えることで、少しずつ自信を持って取り組めるようになった。新型コロナウイルス拡大防止により7月以降は、納品先のボールプールが使用中止となったが、再開を期待してボール洗淨に取り組む姿も見られ、作業に対して目的意識を持つことができた。

③PPバンド [株エルスタット]

利用者の特性に合わせた作業工程にすることで、それぞれの役割を正確に取り組むことができ、作業を通して社会に貢献していることを自覚することができた。多くの利用者が携われる作業となり、協力して取り組む中で協調性や責任感を養うことができた。

創作的活動報告（ときわ・小規模共通）

1 療育活動

音楽療法

新型コロナウイルス感染予防のため中止。

2 文化活動

①軽運動

障害の重度化、高齢化や運動不足に対応することを目的に、外部講師を招き活動をした。新型コロナウイルス感染予防のため、班単位での活動に限定して実施をした。体を動かす機会を楽しみにする利用者も多く、例年以上に運動への意識を高めることができた。軽運動を通して利用者の生活にメリハリが付き、笑顔も増え余暇の過ごし方や興味の幅を広げることができた。

年間15回実施

・ストレッチ（3回） ・ボッチャ（12回）

②貼り絵、絵画等

四季や季節の行事に応じた作品を作ることで、物を作る楽しさを感じることができた。事業所内の作品展に向けて活動班ごとに共同作品を協力して作ることにより、仲間と一緒に作り上げる喜びや達成感につなげることができた。

随時実施

3 クラブ活動

①スポーツクラブ

4月にスポーツクラブとしてボッチャを行った。5月以降は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、各班単位でクラブ活動を実施した。室内ゴルフ等の運動やイントロクイズ等の音楽に親しむ活動を利用者の希望も取り入れながら実施し、体力の維持向上や音楽に親しめる活動につなげた。

年間12回（スポーツクラブ1回、各班クラブ活動11回）実施

②音楽クラブ

4月は、音楽クラブとしてダンスを行った。5月以降は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、各班単位でクラブ活動を実施した。室内ゴルフ等の運動やイントロクイズ等の音楽に親しむ活動を利用者の希望も取り入れながら実施し、体力の維持向上や音楽に親しめる活動につなげた。

年間12回（スポーツクラブ1回、各班クラブ活動11回）実施

その他の活動報告（ときわ・小規模共通）

1 余暇活動

①社会見学

新型コロナウイルス感染予防のため中止。

②経済活動

新型コロナウイルス感染予防の観点から外出活動は控え、事業所内でスクリーンを使用するDVD鑑賞やマジックの体験をした。食事については、事前に各々が選択した料理を職員がテイクアウトをし、普段の給食とは違った雰囲気の中で食事を楽しむことができた。

各班1回実施

③誕生会

各班で利用者中心の誕生会を実施し、仲間から祝福される喜びを感じるとともに、仲間を祝福する気持ちも育むことができた。

年間11回実施（5月6月合同）

④季節行事

地域の方と一緒に活動する場合は、新型コロナウイルス感染予防の観点から限定されたが、事業所内での各種行事を通して季節の移り変わりを肌で感じ取ることができた。

事業所内の主な季節行事

なかよし会（11月11日）

新型コロナウイルス感染予防の観点から、毎年実施しているKTXアリーナではなく、事業所内で班毎に実施した。段ボール玉入れやサツマイモ運び、大型ジグソーパズルを楽しく行う中で、協調性を養うことができた。

クリスマス会（12月24日）

新型コロナウイルス感染予防のため各班での実施となった。クリスマスに合わせた飾り作りから携わり、季節感を感じることができた。当日は、職員による「手品」や「お菓子のつかみ取り」、自ら選んだデザートやジュースを飲食する「おやつタイム」と楽しく過ごすことができた。また、最後には施設長サンタクロースから名

前入りのタオルハンカチのプレゼントを一人ずつ受け取り、有意義な時間とすることができた。

2 合同行事

①法人創立40周年記念ときわバザー（令和2年11月1日）

新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。代替行事としての「ときわ会の秋まつり」を事業所毎にスタンプラリーをして楽しんだ。

②法人創立40周年記念交流会（令和3年1月14日）

新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。代替行事としての「今年も一年頑張りましょう会」を各事業所で食事会をして楽しんだと共に成人者のお祝いをした。

3 その他

①江南市心身障害者（児）スポーツ大会（令和2年9月19日）

新型コロナウイルス感染予防のため中止。

②人にやさしい作品展（令和2年11月24日～12月7日）

江南市役所西分庁舎で予定されていたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。フロアごとに共同作品を作製し、事業所内で作品展を実施した。

③地域・福祉施設合同納涼大会(令和2年7月18日)

新型コロナウイルス感染予防のため中止。

④地域・福祉施設合同大運動会(令和2年10月17日)

新型コロナウイルス感染予防のため中止。

令和2年度 ときわ作業所行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5.23	県障害者スポーツ大会 (中止) (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	4.18 ～5.6	藤まつり (中止)
7.2	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	5.24 6.7	こどもフェスティバル (中止) きそがわほのぼのまつり (中止)
7.18	地域・福祉施設合同納涼大会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会		
9.17	社会見学 (中止)			
9.19	心身障害者(児)スポーツ大会 (中止)	障害者(児)連絡協議会		
10.7	いも掘り		10.1	古知野高校文化祭 (参加中止)
10.17	地域・福祉施設合同大運動会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会	10.4	ふれあいガーデン (中止)
10.29	ときわ会の秋まつり (ときわバザー代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
11.1	法人創立40周年記念ときわバザー (中止)		11.7 ～8	こうなん産業フェスタ (中止)
11.11	なかよし会(事業所内行事に変更)			
11.12	歯科検診	尾北歯科医師会		
11.24 ～12.7	人にやさしい作品展 (中止) (事業所内行事に変更)	障害者(児)連絡協議会		
12.24	クリスマス会			
1.14	法人創立40周年記念交流会 (中止) 今年も一年頑張りましょう会 (交流会代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園合同		
3.2	健康診断	藤原医師	3.14	たけのこまつり (中止) いずみまつり (中止)
その他			事業所実習	
身体測定	12回実施		古知野高校	8名 (7月～8月)
誕生会	11回実施		尾北看護専門学校	12名 (3月)
クラブ活動	12回実施 (各フロアで11回実施)			
経済活動	3回実施			
避難訓練	3回実施 (内1回水防)			
保護者会	8回実施			
医療相談	12回実施			

利用者の状況

1 市町村別

令和3年3月31日現在

出身地	性別		合計	入所前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	28人	16人	44人	7人	13人	24人
一宮市	2	2	4	0	0	4
扶桑町	0	0	0	0	0	0
合計	30	18	48	7	13	28

2 障害支援区分別

令和3年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	2人	12人	9人	7人	30人
女	0	0	5	4	8	1	18
合計	0	0	7	16	17	8	48

3 年齢別

令和3年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	4人	13人	9人	3人	1人	30人	39.6歳
女	0	6	2	5	5	0	18	40.4
合計	0	10	15	14	8	1	48	39.9

4 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	941人	875人	922人	935人	783人	929人
稼働日数	22日	20日	22日	22日	19日	22日
1日当たり 平均利用人数	42.8人	43.8人	41.9人	42.5人	41.2人	42.2人
契約人数	49人	49人	49人	49人	49人	49人
利用率	87.3%	89.3%	85.5%	86.7%	84.1%	86.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	957人	829人	869人	836人	821人	990人	10,687人	890.6人
稼働日数	23日	20日	21日	20日	20日	23日	254日	21.2日
1日当たり 平均利用人数	41.6人	41.5人	41.4人	41.8人	41.1人	43.0人		42.1人
契約人数	48人	48人	48人	48人	48人	48人	582人	48.5人
利用率	86.7%	86.4%	86.2%	87.1%	85.5%	89.7%		86.8%

利用率 定員55人のところ契約人員48人 平均利用人数42.1人 利用率86.8%

年間述べ10,687人が利用

年間稼働日数 254日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 事業所本体

	生活介護	特定費用等	金額
令和2年度	87,511,863円	3,330,288円	90,842,151円
令和元年度	85,057,103円	3,531,530円	88,588,633円
差引	2,454,760円	-201,242円	2,253,518円
前年比	102.9%	94.3%	102.5%

利用料収入は、事業所開所日の1日増加や生活介護事業の加算に対応した送迎サービスの開始、利用率が上がったことで2,253,518円の増収となった。

(2) 日中一時支援

	金額
令和2年度	0円
令和元年度	55,980円
差引	-55,980円
前年比	0.0%

6 生産活動収入の状況

(1) 生産活動全体

	金 額
令和2年度	5,389,294 円
令和元年度	5,435,487 円
差 引	-46,193 円
前 年 比	99.2 %

前年度に比較して、額で46,193円、率で0.8%の減収であった。

(2) 内訳

①自主作業収入

	金 額
令和2年度	1,930,264 円
令和元年度	1,839,504 円
差 引	90,760 円
前 年 比	104.9 %

②下請作業収入

	金 額
令和2年度	3,459,030 円
令和元年度	3,595,983 円
差 引	-136,953 円
前 年 比	96.2 %

自主作業収入は、前年度に比較して、90,760円の増収であった。

下請作業収入は、前年度に比較して、136,953円の減収であった。

7 日常生活動作能力別

区 別	性 別	男	女	合計
		30人	18人	48人
食 事	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	16	13	29
	自立(見守り・声掛け)	14	5	19
排 泄	全 介 助	1	0	1
	一 部 介 助	20	11	31
	自立(見守り・声掛け)	9	7	16
生 理	全 介 助	—	0	0
	一 部 介 助	—	13	13
	自立(見守り・声掛け)	—	5	5

令和2年度 ときわホーム 事業報告書(案)

1 ときわホームの運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業
 事業所名 ときわホーム「ニコット」
 所在地 江南市河野町五十間115番地
 事業内容と定員 共同生活援助(介護サービス包括型)事業 6名(現員6名)
 職員等 [職員]・正規10名・契約2名・世話人6名 計18名

職員

(単位:人)

	施設長	副施設長	サービス 管理責任者	世話人	生活支援員	合計
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	※ ₃ 1	0	※ ₄ 6	9
女	0	0	0	(6)	※ ₄ 3	3(6)
合計	1	1	1	(6)	9	12(6)

()内はパート職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所及び江南市心身障害者小規模授産施設施設長を兼務

※₂は、ときわ作業所副施設長を兼務

※₃は、ときわ作業所サービス管理責任者を兼務

※₄は、ときわ作業所生活支援員を兼務

2 事業総括

新型コロナウイルス感染予防として、法人内の他施設及び関係機関とも連携し、地域の発生状況や対策の変更等の把握に努め、法人の感染症マニュアルに基づき、利用者の感染リスクの回避と健康を第一に支援を行った。また、職員に対して、3月にスクリーニング検査を実施した。

利用者がホームで楽しく、充実した共同生活を送るために入浴、排せつ及び食事等の援助や相談、調理、洗濯、掃除等の日常生活上の支援を行った。

6名の利用者が良好な関係を築き、共同生活の役割を担い、自立した生活を送ることを目標に支援した。協力が必要な場面では6名がお互いに「声を掛け合うこと」を意識し、一人ひとりが自分の言葉に責任を持つことができるような支援に努めた。

年間を通して6名それぞれの「思い」がぶつかり合うことが日常的にあったが、その都度、支援員や世話人が傾聴し、生活のルールを見直したことで、より充実した生活につなげることができた。

週末をホームで過ごす利用者が増加した。新型コロナウイルス感染予防のため、喫茶店等への外出は見合わせた。世話人による利用者の家事や清掃等の

幅が広がるような支援により、週末の生活を安定させることに努めた。

ホームの一日の平均利用人数は5.5人で利用率は92.2%であった。利用料収入は、週末に帰省される方が減少したこともあり、前年度に比べて額で878,981円、率では8.2%の増収であった。

事業内容

1 事業支援

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、ホームでの生活の充実と地域への積極的な参加を図った。

6名の利用者が良好な関係を築き、共同生活の役割を担い、自立した生活を送ることを目標に支援した。協力が必要な場面では6名がお互いに「声を掛け合うこと」を意識し、一人ひとりが自分の言葉に責任を持つことができるような支援に努めた。

年間を通して6名それぞれの「思い」がぶつかり合うことが日常的にあったが、その都度、支援員や世話人が傾聴し、生活のルールを見直したことで、より充実した生活につなげることができた。

食事は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、各居室で摂る支援を行った。日々の身体状況や身体測定の推移も見ながら、健康状態に応じた提供をした。また、日中活動の事業所の給食の献立と重ならないよう柔軟に対応した。特に夕食は、季節感のあるメニューを取り入れ、誕生者のリクエストメニューを加えるなど楽しみの持てる献立に努めた。

[主な取り組み]

- ・誕生者リクエストメニュー その都度（誕生者が希望した一品）

2 健康支援

利用者の健康管理は、朝の体温測定や日中活動の事業所の看護師と連携し、血圧や体重などのバイタルチェックを行うことで健康な生活を送ることができた。また、体調不良が見られた際には嘱託医への相談、保護者や支援員による通院で大病になることなく元気に過ごすことができた。

11月にインフルエンザ予防接種を希望された利用者が、藤原医院を通院し、接種することができた。

3 余暇支援

①外出・休日余暇活動

新型コロナウイルス感染予防の観点から、余暇時間や休日を利用した外出は見合わせ、ホーム近辺でジュース購入を兼ねた散策を行った。

[実施回数] 実施せず

② 誕生会

新型コロナウイルス感染予防のため、誕生者のリクエストメニューは各自居室で食べた。誕生会を食事前に行い、お祝いするとともに、一年間健やかに過ごせたことを皆と感謝することができた。

[実施回数] 年6回実施

③ 季節行事

新型コロナウイルス感染予防のため、春のお花見会は中止とした。秋の十五夜には、月見のお供えを飾り、夕食の時間をゆっくり楽しんだ。年末の忘年会は、飲食を伴うことは見合わせ、各自一年間の目標を発表した。

[実施回数] 年2回実施

4 地域生活支援

月2回ある不燃ごみのゴミ出しの日は、指定の収集場所で地域の方たちと挨拶を交わしながら分別処理を行った。近隣施設が地域住民の方たちをお迎えし、合同で行う夏の納涼行事「地域・福祉施設合同納涼大会」は新型コロナウイルス感染予防のため、中止となった。

[実施回数] 実施せず

5 入院時・外泊時の支援

外泊時は、必要に応じ家庭に連絡し、本人の状態把握等を行った。

6 バックアップ施設、関係機関との連携

日常よりバックアップ施設と情報共有を図り、利用者の活動を支援する中、連携を密に行った。また、緊急時や利用者の体調不良等の場合には、日中の時間帯はときわ作業所と連絡調整し適切に対応した。

7 中期計画の令和2年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

週末の支援体制

週末のホーム利用日は昨年度と比べ増加しているが、今年度新たに世話人が2名増加し、支援員が1名減少したが、勤務体制の安定につながった。

(2) 利用者サービスの向上

ア 日課の見直し

利用者会議では利用者主体となり、誕生日会の司会を決めたり、日々の生活での問題点を話し合うなど、自発性が見られるものとなった。外出活動は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、喫茶外出に行くことはできなかったが、ホーム周辺の散歩や自動販売機でのジュース購入を取り入れたことで、気分転換にもつながり安定した生活を送ることができた。

イ 利用者支援の見直し

体調不良や緊急時の対応順番の確認やバックアップ事業所との連携により、日中活動に支障をきたすことなく支援することができた。保護者と連携を図り、体調不良や通院等の対応を適切に行うことができた。

(3) 設備等ハード面の充実

スプリンクラーの設置

現在の利用者の体制での設置義務はないが、今後の利用者の障害の重度化、高齢化に備え、事業運営が継続して行えるよう整備に向けた調査研究を進めた。

令和2年度 ときわホーム 行事報告

月 日	行 事 等	月 日	関 係 団 体 行 事
4. 9	誕生会		
28	曼陀羅寺花見会 (中止)		
		7. 27	地域・福祉施設合同納涼大会 ⇒新型コロナウイルス感染予防 のため、中止 [合同行事運営委員会]
8. 17	誕生会		
9. 8	誕生会		
24	花火会 (中止)		
10. 1	お月見		
23	避難訓練		
11. 18	インフルエンザ予防接種		
12. 18	忘年会		
1. 20	誕生会		
1. 27	誕生会		
2. 16	誕生会		
3. 25	避難訓練		
29	送別会		
[各種会議・研修・その他] ホーム会議 [12回実施] 世話人会 [12回実施] 家族会 [4回実施] 利用者会 [12回実施]			

共同生活援助事業所の状況

1 契約状況（市町村別）

令和3年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入居前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	0人	5人	5人	0人	0人	5人	0人
一宮市	0	1	1	0	0	1	0
合計	0	6	6	0	0	6	0

2 障害支援区分別

令和3年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女	0	0	4	2	0	0	6
合計	0	0	4	2	0	0	6

3 年齢別

令和3年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0歳
女	0	0	0	0	3	3	0	6	49.5
合計	0	0	0	0	3	3	0	6	49.5

4 月別利用状況

共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	171人	158人	171人	172人	165人	170人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり平均利用人数	5.7人	5.1人	5.7人	5.5人	5.3人	5.7人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
利用率	95%	84.9%	95%	92.5%	88.7%	94.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	178人	170人	162人	161人	163人	178人	2,019人	168.3人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	30.42日
1日当たり平均利用人数	5.7人	5.7人	5.2人	5.2人	5.8人	5.7人		5.5人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人		
利用率	95.7%	94.4%	87.1%	86.6%	97%	95.7%		92.2%

利用率 定員6人に対し、1日平均利用人数5.5人 利用率92.2% 年間延べ2,019人が利用

年間稼働日数 365日

5 主な日中活動先

日 中 活 動 先		人数	
就 労		0人	
サ ー 障 害 ビ フ ス 社	生活介護	6人	
	就労移行支援	0人	
	就労継続支援	A型	0人
		B型	0人
地域活動支援センター	I型	0人	
	II型	0人	
	III型	0人	
合 計		6人	

6 利用料収入の前年度比較

共同生活援助

	介護給付費	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
令和2年度	8,910,254 円	720,000 円	1,944,000 円	11,574,254 円
令和元年度	8,031,273 円	720,000 円	1,944,000 円	10,695,273 円
差 引	878,981 円	0 円	0 円	878,981 円
前年比	110.9%	100.0%	100.0%	108.2%

令和2年度 江南市心身障害者小規模授産施設

事業報告書

1 江南市心身障害者小規模授産施設の運営

設置主体	江南市
経営主体	社会福祉法人 ときわ会
事業種別	地域生活支援事業
事業所名	江南市心身障害者小規模授産施設
所在地	江南市後飛保町高瀬66番地
事業内容と定員	地域活動支援センター（Ⅲ型） 概ね15名（現員12名）
対象者	市内在住の障害者（障害支援区分の区分制限なし）
職員数	常勤5名（正規4名・契約1名）・非常勤1名 計6名

職員

（単位：人）

	施設長	事務員	指導員	合計
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	2	4
女			1（1）	1（1）
合計	1	1	3（1）	5（1）

（ ）内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所施設長及びときわホーム施設長を兼務

※₂は、あゆみ事務員を兼務

2 事業総括

新型コロナウイルス感染予防として、法人内の他施設及び関係機関とも連携し、地域の発生状況や対策の変更等の把握に努め、法人共通の「新型コロナウイルス発生時におけるBCP（事業継続計画）」に基づき、利用者の感染リスクの回避と健康を第一に支援を行った。愛知県独自の緊急事態宣言の期間中に通所自粛期間はあったが、機能を完全に止めることなく事業を継続することができた。

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

生産活動は、作業内容の検証や個々の適正に合わせて作業工程を見直したことで、やりがいや責任感を養うことができた。

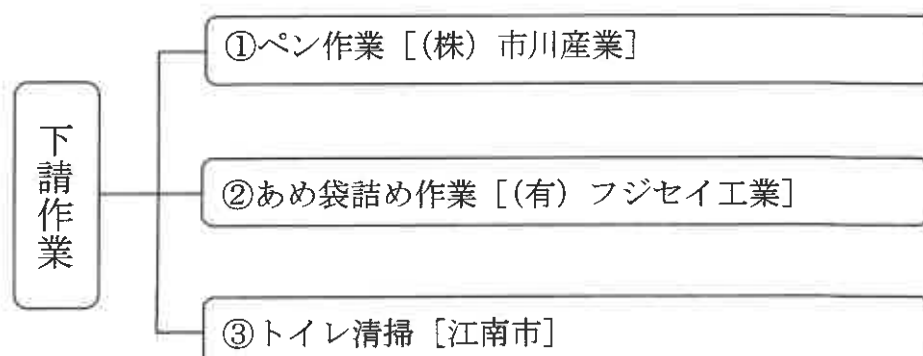
ガーデニングについては、皆で話し合いをして馴染みのある野菜の栽培をした。野菜を種まきから収穫までの成長の過程を楽しみながら栽培し、収穫した野菜を皆で食べ達成感を得ることができた。また、グリーンカーテンづくりや季節に合わせた花を育て季節感や清涼感を得ることができた。

健康支援は、利用者の体調把握に注視しつつ、看護師による健康チェック等を行うなど、快適に過ごせるよう努めた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立や季節のおすすめ献立を取り入れ、楽しみの持てる食事の提供ができた。衛生面についても、感染症予防の徹底や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

施設の稼働日数は254日、平均利用人数は11.2人で利用率は93.5%であった。

3 生産活動



4 中期計画の令和2年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

指定管理について

第4期指定管理の契約と権限移譲の開始に向けて江南市と協議をした結果、下記の内容で締結することとなった。

- ・管理期間を5年から3年に変更。
- ・利用許可権者を市から法人に変更。
- ・自己負担金の徴収を市から法人に変更。

(2) 利用者サービスの向上

(ときわ作業所と一体的実施)

生産活動報告

下請作業

① ペン作業 [(株)市川産業]

作業の種類、工程共に多い仕事であるが、個々の利用者が理解して取り組むことのできる工程も増え、丁寧かつ正確に、資材の不良がないかまで確認しながら作業に取り組むことができた。資材の受け渡しは親会社の生産予定により急ぐこともあったが、事前に施設の日程等を調整すると共に、納期に合わせるという責任感を持ち、納期に間に合うように協力して取り組むことができ、納品業務へも多くの利用者が携わることができた。

② あめ袋詰め作業 [(有) フジセイ工業]

食品を扱う作業であるため、作業開始前の手洗いや消毒、衣服のほこり取りを徹底した。あめの変形等の不良品選別を自発的に注意して行うことで「お客様が食べる物」と意識し、一定の品質を保って出荷することができ、責任感を養うことができた。

衛生管理等の環境面及び新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、業者と検討を重ね、5月から作業を見合わせる事となり、令和2年度で作業終了となった。

③ トイレ清掃 [江南市]

トイレ内の床や便器の清掃と拭き取り、消毒に至る一連の流れについて丁寧に取り組み、清潔なトイレ環境を保つことに努めた。利用者は当番制で行うため、毎回、当番を確認することで各々が責任を持って取り組むことができた。

創 作 的 活 動 報 告

1 療育活動

※ときわ作業所と一体で実施

2 文化活動

① 貼り絵、絵画、ストレッチ等

※ときわ作業所と一体で実施

② ガーデニング

皆で話し合いをしてキュウリやミニトマト、パプリカ等の馴染みのある野菜の栽培をした。野菜を種まきから収穫までの成長の過程を楽しみながら栽培し、収穫した野菜を皆で食べ達成感を得ることができた。また、風船カヅラによるグリーンカーテンづくりや季節に合わせた花を育て季節感や清涼感を得ることができた。

3 クラブ活動

※ときわ作業所と一体で実施

そ の 他 の 活 動 報 告

※ときわ作業所と一体で実施

行 事 報 告

※ときわ作業所と一体で実施

令和2年度 小規模授産施設行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5.23	県障害者スポーツ大会 (中止) (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	4.18 ～5.6	藤まつり (中止)
7.2	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	5.24 6.7	こどもフェスティバル (中止) きそがわほのぼのまつり (中止)
7.18	地域・福祉施設合同納涼大会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会		
9.17	社会見学 (中止)			
9.19	心身障害者(児)スポーツ大会 (中止)	障害者(児)連絡協議会		
10.7	いも掘り		10.1	古知野高校文化祭 (参加中止)
10.17	地域・福祉施設合同大運動会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会	10.4	ふれあいガーデン (中止)
10.29	ときわ会の秋まつり (ときわバザー代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
11.1	法人創立40周年記念ときわバザー (中止)		11.7 ～8	こうなん産業フェスタ (中止)
11.11	なかよし会(事業所内行事に変更)			
11.12	歯科検診	尾北歯科医師会		
11.24 ～12.7	人にやさしい作品展 (中止) (事業所内行事に変更)	障害者(児)連絡協議会		
12.24	クリスマス会			
1.14	法人創立40周年記念交流会 (中止) 今年も一年頑張りましょう会 (交流会代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園合同		
3.2	健康診断	藤原医師	3.14	たけのこまつり (中止) いずみまつり (中止)
その他			事業所実習	
身体測定	12回実施		古知野高校	8名 (7月～8月)
誕生会	11回実施		尾北看護専門学校	12名 (3月)
クラブ活動	12回実施 (各フロアで11回実施)			
経済活動	3回実施			
避難訓練	3回実施 (内1回水防)			
保護者会	8回実施			
医療相談	12回実施			

利用者の状況

1. 利用状況

令和3年3月31日現在

出身地	性別		合計	利用前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	6人	6人	12人	0人	0人	12人
合計	6	6	12	0	0	12

2. 年齢別

令和3年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	1人	4人	0人	0人	6人	37.7歳
女	0	1	5	0	0	0	6	34.3
合計	0	2	6	4	0	0	12	36.0

3. 月別利用状況

令和3年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	256人	237人	251人	249人	210人	243人
稼働日数	22日	20日	22日	22日	19日	22日
1日当たり平均利用人数	11.6人	11.9人	11.4人	11.3人	11.1人	11.0人
契約人数	12人	12人	12人	12人	12人	12人
利用率	89.5%	91.2%	87.8%	87.1%	85.0%	85.0%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	258人	225人	223人	223人	221人	254人	2,850人	237.5人
稼働日数	23日	20日	21日	20日	20日	23日	254日	21.2日
1日当たり平均利用人数	11.2人	11.3人	10.6人	11.2人	11.1人	11.0人		11.2人
契約人数	12人	12人	12人	12人	12人	12人	144人	12.0人
利用率	86.3%	93.8%	88.5%	92.9%	92.1%	92.0%		93.5%

利用率 定員概ね15人のところ契約人員12人 平均利用人数11.2人 利用率93.5%

年間述べ2,850人が利用

年間稼働日数254日

4. 生産活動収入の状況

	金額
令和2年度	810,224円
令和元年度	933,114円
差引	-122,890円
前年比	87%

生産活動収入は、前年度に比較して122,890円の減収であった。

令和2年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ 事業報告書

1 あゆみの運営

設置主体	江南市
経営主体	社会福祉法人 ときわ会
事業種別	地域生活支援事業
事業所名	江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ
所在地	江南市後飛保町平野75番地2
事業内容と定員	(1) 地域活動支援センター(Ⅱ型) 1日25名 (2) 貸館事業 随時
対象者	地域活動支援センター(Ⅱ型) 市内在住の障害者(障害支援区分の区分制限なし) 貸館事業 障害者の介護者・障害者団体・ボランティア団体
職員等	[職員]・常勤4名(正規4名)・非常勤8名 計12名 [他]・講師(日常生活動作訓練・機能回復訓練・音楽療法・ 和太鼓療法・書画・パソコン) 計6名

職員 (単位:人)

	施設長 兼指導主幹	指導員	事務員	運転手	看護師	合計
男		1	※ ₁ 1	※ ₂ (3)		2 (3)
女	1	1 (3)			※ ₃ (2)	2 (5)
合計	1	2 (3)	1	(3)	(2)	4 (8)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、小規模授産施設事務員を兼務

※₂は、内2名はときわ作業所生活支援員補助を兼務

※₃は、内1名はときわ作業所看護師を兼務

2 事業総括

新型コロナウイルス感染予防対策を実施する中、基本事業である機能訓練、社会適応訓練、創作的活動などの地域活動支援センター事業を行った。

感染予防対策として、法人共通の感染予防マニュアルに基づき、地域の発生状況や対策の変更等の把握に努め、利用者の感染リスクの回避と健康を第一に支援を行った。愛知県独自の緊急事態宣言中は、通所自粛期間としたが事業は継続して行うことができた。

地域活動支援センターの利用状況は、新規利用者1名の受け入れ、介護保険移行による退所が1名で、3月31日現在で12名が契約している。

事業面では、令和2年度から開始した機能訓練を取り入れた日課において、毎日訓練を行うことで意識付けることができた。

健康面では、看護師による健康チェックのほか、日々、血中の酸素飽和度の測定を実施した。職員間で情報を共有し体調から精神面までを把握し、利用者支援の向上に努めた。また、アクリル板、フェイスシールドを整備し活用している。

その他、第6回目を迎えた「あゆみエンジョイ Summer」は消毒や換気を徹底し、あゆみ利用者のみでの参加に変更したことで中止することなく実施することができた。

貸館事業においては、基本事業と同様に緊急事態宣言の期間中は中止したが、その後の利用はなかった。

事業内容

1 基本事業

①機能訓練（5事業 60回実施）

ア 日常生活動作訓練（21回実施 133人利用）

日常生活上の身体の動作が合理的に運動できるよう、レザー製作をとおした訓練や軽運動を作業療法士の指導により月2回行った。

イ 機能回復訓練（0回実施 0人利用）

毎週金曜日と第1、第3木曜日に障害の状態や能力に応じた座位、立位、歩行訓練等の機能訓練を理学療法士の指導により行った。

ウ 家事訓練（9回実施 55人利用）

栄養バランスを考えた簡単な料理等を月1回行った。

エ 音楽療法（19回実施 141人利用）

心の癒しや機能回復の促進を図るため、講師の指導により月2回行った。

オ 和太鼓療法（11回実施 79人利用）

心の癒しや安定、機能の維持、回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

②社会適応訓練（2事業 51回実施）

ア パソコン（40回実施 276人利用）

毎週金曜日に、自己表現や意思の伝達手段、インターネット等を講師の指導により行った。

イ ストレッチ（11回実施 72人利用）

軽運動やダンスをとおして自己の運動能力の維持、助長等を図るため、月1回行った。

③創作的活動（2事業 226回実施）

ア 書画（9回実施 64人利用）

絵画、習字をとおして自己表現や感性を磨き、手指機能の維持、回復を図るため、講師の指導により行った。

イ 軽作業（217回実施 1,403人利用）

障害の状態や能力に応じてマット編み、レザー製品作り等を行った。

④レクリエーション（10回実施 67人利用）

レクリエーション活動を月1回行った。（スポーツ大会、クリスマス会等）

⑤入浴（211回実施 1,047人利用）

家庭での入浴が困難な障害者に入浴サービスの提供を行った。

⑥送迎（769回実施 2,035人利用）

自力通所や家庭送迎が困難な障害者が、一日でも多く利用できるよう送迎を行った。

⑦介護指導（0回実施 0人参加）

消防署職員の指導のもと、異物除去の介護方法やAED（除細動器）を使った心肺蘇生法などについての講習を受けた。

⑧健康指導（258回実施 258人利用）

障害者の疾病に留意し、血圧・検温のほか状態観察、健康管理、ケア等を行った。

2 合同行事

①法人創立40周年記念ときわバザー（令和2年11月1日）

新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。代替行事として「ときわ会の秋まつり」を各事業所で実施し、スタンプラリーをして楽しんだ。

②法人創立40周年記念交流会（令和3年1月14日）

新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を各事業所で実施し、成人者を祝うDVDを鑑賞した後、食事をして楽しい時間を過ごすことができた。

3 貸館事業

- ・施設利用（0回実施 0人利用）

4 中期計画の令和2年度の取り組み

（1）今後の事業の方向性

ア 指定管理について

第4期指定管理の契約と権限移譲の開始に向けて江南市と協議をした結果、下記の内容で締結することとなった。

- ・管理期間を5年から3年に変更
- ・利用許可権者を市から法人に変更
- ・自己負担金の徴収を市から法人に変更

（2）利用者サービスの向上

ア 軽作業、講座、日課の見直し

新型コロナウイルス感染予防対策として軽作業、講座、日課で使用する道具の消毒を徹底、席配置の見直し等を行ったうえで、利用者の状態に合わせたマット編み作業を試行的に取り組んだ。また身体機能の維持向上に向け、機能訓練を取り入れた日課では、利用者に分かりやすい日課を可視化し、毎日行うことで意識付き、意欲の向上につなげることができた。

イ 入浴、送迎サービス

入浴サービスでは、新たに作成した換気、消毒を取り入れた入浴介助マニュアルに沿って実施した。安心安全に入浴していただけるよう重度化による身体状態の変化に合わせた介助方法の研究を継続して取り組んだ。

送迎サービスについても同様に、ビニールシートを設置し、換気しながら行った。また利用者の状況に応じた運行の見直しをした。

令和2年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ行事等報告

(1) 行 事

月 日	行 事 等
4. 28	あゆみ田楽会 (中止)
7. 28	あゆみエンジョイSummer (あゆみ利用者のみ参加)
10. 1	避難訓練
10. 21	あゆみスポーツ大会
10. 29	社会見学 (中止)
10. 30	ときわ会の秋まつり (ときわバザー代替行事)
11. 24	人にやさしい作品展 (中止) 障害者(児)連絡協議会
~12 . 7	
12. 21	あゆみクリスマス会
1. 14	今年も一年頑張りましょう会 (交流会代替行事)
1. 26	あゆみ新年会 (新春カラオケ大会代替行事)
2. 25	介護教室 (中止)
3. 29	避難訓練

(2) 視察・福祉体験学習など

月 日	内 容

(3) バザー参加

月 日	他団体協力バザー

利用者の状況

令和3年3月31日現在

1 利用者年齢別 (単位:人)

年齢	男	女	計
20歳未満	1	0	1
20～29	2	0	2
30～39	1	1	2
40～49	3	0	3
50～59	1	2	3
60以上	1	0	1
合計	9	3	12

2 障害支援区分 (単位:人)

障害支援区分	男	女	計
6	5	2	7
5	0	0	0
4	3	0	3
3	0	0	0
2	0	1	1
1	0	0	0
非該当	1	0	1
合計	9	3	12

3 利用日数の構成 (単位:人)

利用日数	男	女	計
20日以上	6	2	8
10～19	2	1	3
1～9	1	0	1
合計	9	3	12

1 利用者の事業別利用状況

・事業日数 242日 ・利用延べ人員 1,640人 ・1日あたりの平均利用人員 6.8人

講座名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		
	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	1	7	0	0	2	13	2	11	2	13	2	10	2	14
	機能回復訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家事訓練	1	0	0	0	1	7	1	6	0	0	1	8	0	0
	音楽療法	0	0	0	0	2	13	2	16	1	8	2	15	2	15
	和太鼓療法	1	8	0	0	1	8	1	6	1	8	1	7	1	7
小計	3	15	0	0	6	41	6	39	4	29	6	40	5	36	
社会適応訓練	パソコン	2	15	0	0	3	27	4	27	3	20	4	29	5	33
	ストレッチ	1	6	0	0	1	8	1	7	1	8	1	6	1	7
	小計	3	21	0	0	4	35	5	34	4	28	5	35	6	40
創作的活動	書画	0	0	0	0	1	7	1	5	0	0	1	7	1	8
	軽作業	20	98	18	62	22	146	18	130	1	8	20	135	22	151
	小計	20	98	18	62	23	153	19	135	1	8	21	142	23	159
	レクリエーション	0	0	0	0	1	6	1	5	1	5	1	7	1	8
入浴サービス		11	69	0	0	22	113	21	102	17	83	20	98	22	110
	送迎サービス	51	126	41	105	74	192	71	176	55	147	68	184	76	205
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康指導	15	15	9	9	20	20	24	24	26	26	24	24	21	21	21
介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	77	210	50	114	117	331	117	307	99	261	113	313	120	344	
総計	103	344	68	176	150	560	147	515	108	326	145	530	154	579	

事業名	講座名	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1回あたりの 平均利用状況
		回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	13	2	14	2	12	2	12	2	14	21	133	6.3
	機能回復訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家事訓練	1	5	1	8	1	8	1	7	1	6	9	55	6.1
	音楽療法	2	14	2	14	2	15	2	17	2	14	19	141	7.4
	和太鼓療法	1	8	1	7	1	6	1	7	1	7	11	79	7.2
社会適応訓練	小計	6	40	6	43	6	41	6	43	6	41	60	408	6.8
	パソコン	4	28	4	30	4	22	4	26	3	19	40	276	6.9
	ストレッチ	1	6	1	5	1	7	1	6	1	6	11	72	6.5
	小計	5	34	5	35	5	29	5	32	4	25	51	348	6.8
	書画	1	6	1	8	1	7	1	8	1	8	9	64	7.1
創作的活動	軽作業	19	135	19	139	17	121	18	124	23	154	217	1,403	6.5
	小計	20	141	20	147	18	128	19	132	24	162	226	1,467	6.5
	レクリエーション	1	7	1	8	1	8	1	7	1	6	10	67	6.7
	入浴サービス	19	93	20	94	18	85	18	87	23	113	211	1,047	5.0(日)
	送迎サービス	63	176	69	187	59	160	62	164	80	213	769	2,035	2.6(回)
介護	更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--
	健康指導	26	26	21	21	19	19	20	20	33	33	258	258	1.0(日)
	介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	109	302	111	310	97	272	101	278	137	365	1,248	3,407	
総計	140	517	142	535	126	470	131	485	171	593	1,585	5,630		

2 貸館事業利用状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
休日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

3 見学者等の状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.1	0.2
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2		